

大学番号：040

# 意見伺い

[平成24年度設置]

計画の区分：学部の設置

山梨大学 生命環境学部

【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 山梨大学  
平成24年5月1日現在



## 目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	7
3	施設・設備の状況, 経費	35
4	既設大学等の状況	36
5	教員組織の状況	37
6	留意事項に対する履行状況等	70
7	その他全般的事項	71



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 山梨大学

## (2) 大学名

山梨大学

## (3) 大学の位置

〒400-8510  
山梨県甲府市武田4丁目4番37号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
学長	(マエダ シュウイチロウ) 前田 秀一郎 (平成21年4月)		
学部長	(ハヤカワ マサユキ) 早川 正幸 (平成24年4月)		
副学部長 生命工科学科長	(ウイ サダハル) 宇井 定春 (平成24年4月)		
地域食物科学科 学科長	(ヤナギダ フジトシ) 柳田 藤寿 (平成24年4月)		
環境科学科 学科長	(サカモト ヤスシ) 坂本 康 (平成24年4月)		
副学部長 地域社会システム学 学科長	(キタムラ シンイチ) 北村 眞一 (平成24年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例)平成21年度に報告済の内容 (21)  
平成24年度に報告する内容 (24)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
生命環境学部 生命工学科 学士(生命工学)	4年	35人	0人	140人	
地域食物科学科 学士(農学)	4	30	0	120	
環境科学科 学士(環境科学)	4	30	0	120	
地域社会システム学科 学士(社会科学)	4	35	0	140	

(注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A	入学定員	35 ( - ) [ - ]								1.08倍	
	志願者数	170 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]								
	受験者数	134 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]								
	合格者数	44 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]								
	B	入学者数	38 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]							
入学定員超過率 B/A		1.08									

地域食物科学科

対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A	入学定員	30 ( - ) [ - ]								1.16倍	
	志願者数	234 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]								
	受験者数	186 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]								
	合格者数	40 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]								
	B	入学者数	35 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]							
入学定員超過率 B/A		1.16									

環境科学科

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 30 ( - ) [ - ]	人	人	人	人	人	人	人	1.06倍	
志願者数	181 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	114 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	38 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	32 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.06									

地域社会システム学科

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 35 ( - ) [ - ]	人	人	人	人	人	人	人	1.05倍	
志願者数	140 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	108 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	44 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	37 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.05									

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ [ ] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで**記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

生命工学科

学年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 38	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次			/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
4年次	/				/		[ ]	[ ]	[ ]
計			[ - ] 38	[ ]			[ ]	[ ]	[ ]

地域食物科学科

学年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 35	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次			/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
4年次	/				/		[ ]	[ ]	[ ]
計			[ - ] 35	[ ]			[ ]	[ ]	[ ]

環境科学科

学年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 32	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次			/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
4年次	/				/		[ ]	[ ]	[ ]
計			[ - ] 32	[ ]			[ ]	[ ]	[ ]

地域社会システム学科

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 37	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次	/		/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
4年次	/		/		/		[ ]	[ ]	
計	[ - ] 37		[ ]		[ ]		[ ]		

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	142 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0 人	平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		
合 計	142 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<生命環境学部 生命工学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
【全学共通教育科目】												
人間形成科目	生活と健康Ⅰ	1前	1									
	生活と健康Ⅱ	1後	1									
	人間形成論	1前 1→2前		2								カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	エンプロイアビリティ論 職業選択支援プログラム	1後 1→2前後		2								カリキュラムの整備により科目名称及び配当年次を変更(24)
	キャリア形成のための作文演習	1前後 1→2前後		2								カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	キャリア形成論	1前後		2								
全学共通教育科目	英語AⅠ	1前		2								
	英語AⅡ	1前		2								
	英語AⅢ	1前		2								
	英語BⅠ	1後		2								
	英語BⅡ	1後		2								
	英語BⅢ	1後		2								
	TOEFLⅠ	1・2・3・4前		4								
	TOEFLⅡ	1・2・3・4後		4								
	総合英語	2前後		2								
	英語リーディング・ライティング	2前後		2								
	英語リーディング・ライティング(上級)	2前後		2								
	英語オールコミュニケーション	2前後		2								
	英語オールコミュニケーション(上級)	2前後		2								
	e-ラーニングⅠ	1・2・3・4前		1								
	e-ラーニングⅡ	1・2・3・4後		1								
	e-ラーニングⅢ	2・3・4前 1→2・3・4前		1								カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	e-ラーニングⅣ	2・3・4前 1→2・3・4前		1								カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	Intensive15-Ⅰ(英語)	1・2・3・4前		1								
	Intensive15-Ⅱ(英語)	1・2・3・4前		1								
	Intensive90-Ⅰ(英語)	2・3・4前		6								
	Intensive90-Ⅱ(英語)	2・3・4後		6								
	ドイツ語初級Ⅰ	1前		2								
	ドイツ語初級Ⅱ	1後		2								
	ドイツ語演習Ⅰ	1前		2								
	ドイツ語演習Ⅱ	1後		2								
	ドイツ語中級Ⅰ(総合)	2前		2								
	ドイツ語中級Ⅱ(総合)	2後		2								
ドイツ語中級Ⅰ(コミュニケーション)	2前		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
ドイツ語中級Ⅱ(コミュニケーション)	2前		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
ドイツ語Intensive90-Ⅰ	2・3・4前		6									
ドイツ語Intensive90-Ⅱ	2・3・4後		6									
フランス語初級Ⅰ	1前		2									
フランス語初級Ⅱ	1後		2									
フランス語演習Ⅰ	1前		2									
フランス語演習Ⅱ	1後		2									

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全 学 科 目	フランス語中級Ⅰ（総合）	2前		2							カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級Ⅱ（総合）	2後		2							カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級Ⅰ（コミュニケーション）	2前		2							カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級Ⅱ（コミュニケーション）	2後		2							カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語Intensive90-Ⅰ	2・3・4前		6							カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語Intensive90-Ⅱ	2・3・4後		6							カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	中国語初級Ⅰ	1前		2							
	中国語初級Ⅱ	1後		2							
	中国語演習Ⅰ	1前		2							
	中国語演習Ⅱ	1後		2							
	中国語中級Ⅰ（総合）	2前		2							
	中国語中級Ⅰ（コミュニケーション）	2前		2							
	中国語中級Ⅱ（総合）	2後		2							
	中国語中級Ⅱ（コミュニケーション）	2後		2							
	中国語Intensive60-Ⅰ	2・3・4前		4							
	中国語Intensive60-Ⅱ	2・3・4後		4							
	スペイン語初級Ⅰ	1前		2							カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	スペイン語初級Ⅱ	1後		2							カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	スペイン語演習Ⅰ	1前		2							カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	スペイン語演習Ⅱ	1後		2							カリキュラムの整備により科目を追加(24)
日本語文学作品論Ⅱ	<del>1・2・3・4後</del>		<del>2</del>							担当教員が退職したため、削除(24)	
国語表現	1・2・3・4前		2								
日本古代の政治と文化	1・2・3・4後		2								
考古学について	1・2・3・4前		2								
メディアと人間	1・2・3・4後		2								
子どもと文化	1・2・3・4後		2								
ヨーロッパ中世の諸相	1・2・3・4後		2								
山梨大学から見る大学の歴史と現在	1・2・3・4後		2								
教育史を通して見る日本の近代現代	1・2・3・4前		2								
小説における〈他者〉の問題	1・2・3・4後		2								
ものといのち	1・2・3・4後		2								
源氏物語を読む	1・2・3・4後		2								
芸術における言語と身体 の思想 文化記号論	1・2・3・4後		2							カリキュラムの整備により科目を変更(24)	
日本語表現の現在	1・2・3・4後		2							カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
経済学のみで見ると	1・2・3・4後		2								
日本国憲法	1・2・3・4前		2								
スポーツ映画に見る現代社会	1・2・3・4後		2								
住まいの地方性	1・2・3・4前		2								
山梨学	1・2・3・4前		2								
社会変動と人間	<del>1・2・3・4後</del>		<del>2</del>							担当教員が退職したため、削除(24)	
特別支援教育総論	1・2・3・4前		2								
現代日本の政治と政策	1・2・3・4後		2								
投資と資産形成	1・2・3・4前		2								
理系女性のキャリア形成	1・2・3・4前		2								
科学・デザイン・コミュニケーション	1・2・3・4前		2								
生活設計論	1・2・3・4前		2								
企業概論	1・2・3・4前		2								
経営分析のためのデータ解析	1.2.3.4前		2								
現代社会と教育	1・2・3・4前		2								
こころと体の障害の理解と支援	1・2・3・4後		2								
環境政策の展開	1・2・3・4前		2								

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
全 学 共 通 教 育 科 目	映像で考える子どもと教育	1・2・3・4前		2								
	人間理解の心理学	1・2・3・4前		2								
	放射線と現代	1・2・3・4後		2								
	教育問題から見た現代社会	1・2・3・4後		2								
	保育・子育ての現在	1・2・3・4後		2								
	哲学のさまざまな問題	1・2・3・4後		2								
	経営管理（マネジメント）	1・2・3・4後		2								
	子どもとジェンダー	1・2・3・4前		2								
	思考の整理術	1・2・3・4前		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	科学技術史入門	1・2・3・4後		2								
	天文学への誘い	1・2・3・4後		2								
	確率の見方	1・2・3・4後		2								
	ヒトに至る生命の歴史	1・2・3・4前		2								
	生物学の様子	1・2・3・4後		2								
	染色の科学	1・2・3・4後		2								
	子どもと自然	1・2・3・4後		2								
	材料と技術	1・2・3・4前		2								
	家庭の中のエレクトロニクス	1・2・3・4前		2								
	人間とコンピュータ	1・2・3・4後		2			5	4				
	現代生活とバイオテクノロジー	1・2・3・4後		2								
	地球環境化学とエネルギー	1・2・3・4後		2								
	ワインと宝石	1・2・3・4前		2								
	これからの機械技術	1・2・3・4前		2								
	人間と機械	1・2・3・4後		2								
	地球の見方	1・2・3・4前		2								
	医工学と現代社会	1・2・3・4前		2			1					
	一般相対性理論への招待	1・2・3・4後		2								
	クリスタルサイエンス	1・2・3・4後		2								
	ワイン製造及び体験実習	1・2・3・4前		2								
	生命科学と社会	1・2・3・4前		2								
	数理の発想でみる自然・社会・人間	1・2・3・4前		2								
	電気とコンピュータ	1・2・3・4後		2								
	水圏植物の生物学	1・2・3・4後		2								
	子どもと事象の数理	1・2・3・4後		2								
	数学の見方	1・2・3・4前		2								
	依存の科学	1・2・3・4前		2								
	ガイア仮説と地球システム科学	1・2・3・4前		2								
	エントロピーと環境問題	1・2・3・4前		2								カリキュラムの整備により科目を変更(24)
	魔方陣から現代数学へ	1・2・3・4前		2								
	物理パズルで親しむ身近な自然現象	1・2・3・4前		2								
自然災害と都市防災	1・2・3・4前		2									
頭と身体の運動学	1・2・3・4前		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
高分子材料化学	1・2・3・4前		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
光る分子の科学	1・2・3・4前		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
ウイルスと人間	1・2・3・4後		2								カリキュラムの整備により科目名を変更(24)	
<del>ウイルスと人間B</del>	1・2・3・4後		2									
心理学への誘い	1・2・3・4前		2									
音楽の即興表現	1・2・3・4前		2									
死生学入門	1・2・3・4前		2									
健康科学	1・2・3・4後		2									
スポーツマッサージ入門	1・2・3・4前		2									
感性による造形	1・2・3・4前		2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全 学 共 通 教 育 科 目	スポーツとダイエットの科学	1・2・3・4前		2								
	かたちの不思議と幾何学的デザイン	1・2・3・4後		2								
	生命倫理	1・2・3・4前		2								
	医療の最先端	1・2・3・4前		2								
	社会における看護と介護	1・2・3・4後		2								
	社会の中の医療・医学	1・2・3・4後		2								
	人体の生命科学	1・2・3・4前		2								
	アウトドアパスーツⅠ	1・2・3・4前		2								
	アウトドアパスーツⅡ	1・2・3・4後		2								
	写真の歴史	1・2・3・4後		2								
	健康社会学	1・2・3・4後		2								
	社会と文化の心理学	1・2・3・4後		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	吹奏楽の楽しみ	1・2・3・4後		2								カリキュラムの整備により科目を変更(24)
	アンサンブルの楽しみ	1・2・3・4後		2								
	球技スポーツの魅力	1・2・3・4前		2								
	運動と遊び	1・2・3・4後		2								
	スポーツ考現学への誘い	1・2・3・4前		2								
	健康なからだ論	1・2・3・4前		2								
	パーソナリティ心理学	1・2・3・4前		2								
	こころの健康づくり	1・2・3・4前		2								
	ミュージカルを歌おう	1・2・3・4前		2								
	余暇社会の身体活動	1・2・3・4後		2								
	ピアノを弾こう	1・2・3・4後		2								
	音楽の分析と表現	1・2・3・4後		2								
	ダンス・セラピー	1・2・3・4後		2								
	東洋音楽鑑賞	1・2・3・4前		2								
異文化間コミュニケーション	1・2・3・4前		2									
アジアの人々	1・2・3・4後		2									
ボランティア理論	1・2・3・4前		2									
世界近現代史の潮流と日本	1・2・3・4後		2									
現代政治のイシュー	1・2・3・4後		2									
映像を通じて見る異文化	1・2・3・4前		2									
電子音楽の世界	1・2・3・4後		2									
実演・楽器学～管弦打楽器の特性と実践的編曲法	1・2・3・4後		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
暮らしの中の美と形	1・2・3・4後		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	

【専門科目】

専 門 基 礎 科 目	学 部 共 通 科 目	共生科学入門	1前	2			1						
		生命環境基礎ゼミ	1前	2			1	2					
		生物資源論	2前	2									
		生物資源実習	2後	1									
		情報処理及び演習	1前	2									
		基礎統計学	2前	2									
		基礎統計学演習	2前	2									
		生命科学概論	2前	2				1					
		食物科学入門	1後		2								
		環境科学入門	1後		2								
		経済経営学入門	1前		2								
		リスクマネジメント概論	2後	2									
		生命倫理学	1後	2									
		理 系 共 通 科 目	基礎数学	1前	2								
			基礎数学演習	1前	2								
	微積分学		1後	2									

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	理系共通科目	線形代数学	1後		2							
		基礎物理学Ⅰ	2前	2								
		基礎物理学Ⅱ	2後		2							
		化学概論	1前	2								
		基礎化学	1後	2				1				
		生物学概論	1前	2								
		基礎生物学	1後	2			1					
専門基礎科目	理系共通科目	生命科学方法論	3・4前		2							
		環境健康科学	3・4後		2							
専門発展科目		生物無機化学	2後		2			1				
		生物物理化学	1後		2		1					
		生物分析化学	1後		2			1				
		生物化学工学Ⅰ	2後	2			1					
		生物化学工学Ⅱ	3前		2		1					
		遺伝科学概論	2後	2			1					
		化学実験	2前	2				1		1		
		応用微生物学Ⅰ	2前	2			1					
		応用微生物学Ⅱ	2後		2		1					
		生体触媒学	2後		2		1					
		生体物質論	2前		2		1					
		構造生物学	3後		2		1					
		生物有機化学	2後		2			1				
		細胞培養工学	3後		2		1					
		動物解剖学	2前	2			1					
		発生工学	2後	2			1					
		細胞生理学	2前	2			1					
		遺伝子工学	3前		2			1				
		生物工学実験Ⅰ	3前	3			1			1		
		生物工学実験Ⅱ	3前	3			1	1				
		生物工学実験Ⅲ	3後	3			1			2		
		生物工学実験Ⅳ	3後	3			1	2				
		生化学演習	2後	1			1			1		
		ゲノミクス演習	3前	1			1			1		
		発生工学基礎実習	2後	2			1			1		
		技術英語Ⅰ	3前		2		5					
		技術英語Ⅱ	3後		2		1	4				
		バイオインフォマティクス	3前		2		1					
		微生物育種学	3後		2							
		発酵工業学	3前		2							
		食品成分分析学	2前		2							
		農作物病理学	3後		2							
		栽培植物育種法	3前		2							
食品加工学	2後		2									
基礎生化学実習	2後		4									
環境毒性学	3後		2									
環境保全学	3後		2									
地球環境科学	1後		2									
経営学総論	4後		2									
法律学概論	4後		2									
科学技術政策論	4後		2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門特別科目	科学英語演習Ⅰ	4前	2			6	4		4		
	科学英語演習Ⅱ	4後	2			6	4		4		
	特別講義Ⅰ	4通		1							
	特別講義Ⅱ	4通		1							
	特別講義Ⅲ	4通		1							
	特別講義Ⅳ	4通		1							
	インターンシップⅠ	2・3通		1							
	インターンシップⅡ	2・3通		1							
	生命工学卒業論文	4通		6		6	4		5		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 43	科目 188	科目 0	科目 231	科目 43	科目 206	科目 0	科目 249	
				[ 0 ]	[ 18 ]	[ 0 ]	[ 18 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	未開講科目なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	日本文学作品論Ⅱ	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員退職のため
2	社会変動と人間	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員退職のため
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学共通教育科目を担当していた兼任教員が退職したことにより、廃止することになった。  
 当該科目は全学共通教育科目における教養教育科目部門に位置付ける科目であり、履修上の影響は無いと考える。  
 なお、学生に対しては、学生便覧及びホームページ等により周知済みである。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<生命環境学部 地域食物科学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
【全学共通教育科目】												
全 学 共 通 教 育 科 目	人間形成科目	生活と健康 I	1 前	1								
		生活と健康 II	1 後	1								
		人間形成論	1 前 1-2前		2							カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
		エンプロイアビリティ論 職業選択支援プログラム	1 後 1-2前後		2							カリキュラムの整備により科目名等及び配当年次を変更(24)
		キャリア形成のための作文演習	1 前後 1-2前後		2							カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
		キャリア形成論	1 前後		2							
		英語 A I	1 前		2							
		英語 A II	1 前		2							
		英語 A III	1 前		2							
		英語 B I	1 後		2							
		英語 B II	1 後		2							
		英語 B III	1 後		2							
		TOEFL I	1-2-3-4前		4							
		TOEFL II	1-2-3-4後		4							
		総合英語	2前後		2							
		英語リーディング・ライティング	2前後		2							
		英語リーディング・ライティング(上級)	2前後		2							
		英語オーラルコミュニケーション	2前後		2							
		英語オーラルコミュニケーション(上級)	2前後		2							
		e-ラーニング I	1-2-3-4前		1							
		e-ラーニング II	1-2-3-4後		1							
		e-ラーニング III	2-3-4 1-2-3-4前		1							カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
		e-ラーニング IV	2-3-4 1-2-3-4前		1							カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
		Intensive15- I (英語)	1-2-3-4前		1							
		Intensive15- II (英語)	1-2-3-4前		1							
		Intensive90- I (英語)	2-3-4前		6							
		Intensive90- II (英語)	2-3-4後		6							
		ドイツ語初級 I	1 前		2							
		ドイツ語初級 II	1 後		2							
		ドイツ語演習 I	1 前		2							
		ドイツ語演習 II	1 後		2							
		ドイツ語中級 I (総合)	2 前		2							
		ドイツ語中級 II (総合)	2 後		2							
		ドイツ語中級 I (コミュニケーション)	2 前		2							カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	ドイツ語中級 II (コミュニケーション)	2 前		2							カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	ドイツ語 Intensive90- I	2-3-4前		6								
	ドイツ語 Intensive90- II	2-3-4後		6								
	フランス語初級 I	1 前		2								
	フランス語初級 II	1 後		2								
	フランス語演習 I	1 前		2								
	フランス語演習 II	1 後		2								

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
全 学 科 目	フランス語中級Ⅰ（総合）	2前		2							カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級Ⅱ（総合）	2後		2							カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級Ⅰ（コミュニケーション）	2前		2							カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級Ⅱ（コミュニケーション）	2後		2							カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語Intensive90-Ⅰ	2・3・4前		6							カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語Intensive90-Ⅱ	2・3・4後		6							カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	中国語初級Ⅰ	1前		2							
	中国語初級Ⅱ	1後		2							
	中国語演習Ⅰ	1前		2							
	中国語演習Ⅱ	1後		2							
	中国語中級Ⅰ（総合）	2前		2							
	中国語中級Ⅰ（コミュニケーション）	2前		2							
	中国語中級Ⅱ（総合）	2後		2							
	中国語中級Ⅱ（コミュニケーション）	2後		2							
	中国語Intensive60-Ⅰ	2・3・4前		4							
	中国語Intensive60-Ⅱ	2・3・4後		4							
	スペイン語初級Ⅰ	1前		2							カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	スペイン語初級Ⅱ	1後		2							カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	スペイン語演習Ⅰ	1前		2							カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	スペイン語演習Ⅱ	1後		2							カリキュラムの整備により科目を追加(24)
共通教育科目	<del>日本文学作品論Ⅱ</del>	<del>1・2・3・4後</del>		<del>2</del>							担当教員が退職したため、削除(24)
	国語表現	1・2・3・4前		2							
	日本古代の政治と文化	1・2・3・4後		2							
	考古学について	1・2・3・4前		2							
	メディアと人間	1・2・3・4後		2							
	子どもと文化	1・2・3・4後		2							
	ヨーロッパ中世の諸相	1・2・3・4後		2							
	山梨大学から見る大学の歴史と現在	1・2・3・4後		2							
	教育史を通して見る日本の近代現代	1・2・3・4前		2							
	小説における〈他者〉の問題	1・2・3・4後		2							
	ものといのち	1・2・3・4後		2							
	源氏物語を読む	1・2・3・4後		2							
	芸術における言語と身体 の思想 文化記号論	1・2・3・4後		2							カリキュラムの整備により科目を変更(24)
	日本語表現の現在	1・2・3・4後		2							カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	経済学で目で見ると	1・2・3・4後		2							
	日本国憲法	1・2・3・4前		2							
	スポーツ映画に見る現代社会	1・2・3・4後		2							
	住まいの地方性	1・2・3・4前		2							
	山梨学	1・2・3・4前		2							
	<del>社会変動と人間</del>	<del>1・2・3・4後</del>		<del>2</del>							担当教員が退職したため、削除(24)
	特別支援教育総論	1・2・3・4前		2							
	現代日本の政治と政策	1・2・3・4後		2							
	投資と資産形成	1・2・3・4前		2							
	理系女性のキャリア形成	1・2・3・4前		2							
	科学・デザイン・コミュニケーション	1・2・3・4前		2							
	生活設計論	1・2・3・4前		2							
	企業概論	1・2・3・4前		2							
	経営分析のためのデータ解析	1.2.3.4前		2							
	現代社会と教育	1・2・3・4前		2							
	こころと体の障害の理解と支援	1・2・3・4後		2							
	環境政策の展開	1・2・3・4前		2							

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
全 学 共 通 教 育 科 目	映像で考える子どもと教育	1・2・3・4前		2								
	人間理解の心理学	1・2・3・4前		2								
	放射線と現代	1・2・3・4後		2								
	教育問題から見た現代社会	1・2・3・4後		2								
	保育・子育ての現在	1・2・3・4後		2								
	哲学のさまざまな問題	1・2・3・4後		2								
	経営管理（マネジメント）	1・2・3・4後		2								
	子どもとジェンダー	1・2・3・4前		2								
	思考の整理術	1・2・3・4前		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	科学技術史入門	1・2・3・4後		2								
	天文学への誘い	1・2・3・4後		2								
	確率の見方	1・2・3・4後		2								
	ヒトに至る生命の歴史	1・2・3・4前		2								
	生物学の様子	1・2・3・4後		2								
	染色の科学	1・2・3・4後		2								
	子どもと自然	1・2・3・4後		2								
	材料と技術	1・2・3・4前		2								
	家庭の中のエレクトロニクス	1・2・3・4前		2								
	人間とコンピュータ	1・2・3・4後		2								
	現代生活とバイオテクノロジー	1・2・3・4後		2								
	地球環境化学とエネルギー	1・2・3・4後		2								
	ワインと宝石	1・2・3・4前		2			2		3			
	これからの機械技術	1・2・3・4前		2								
	人間と機械	1・2・3・4後		2								
	地球の見方	1・2・3・4前		2								
	医工学と現代社会	1・2・3・4前		2								
	一般相対性理論への招待	1・2・3・4後		2								
	クリスタルサイエンス	1・2・3・4後		2								
	ワイン製造及び体験実習	1・2・3・4前		2					1			
	生命科学と社会	1・2・3・4前		2								
	数理の発想でみる自然・社会・人間	1・2・3・4前		2								
	電気とコンピュータ	1・2・3・4後		2								
	水圏植物の生物学	1・2・3・4後		2								
	子どもと事象の数理	1・2・3・4後		2								
	数学の見方	1・2・3・4前		2								
	依存の科学	1・2・3・4前		2								
	ガイア仮説と地球システム科学	1・2・3・4前		2								
	エントロピーと環境問題 魔方陣から現代数学へ	1・2・3・4前		2								カリキュラムの整備により科目を変更(24)
	物理パズルで親しむ身近な自然現象	1・2・3・4前		2								
	自然災害と都市防災	1・2・3・4前		2								
頭と身体の運動学	1・2・3・4前		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
高分子材料化学	1・2・3・4前		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
光る分子の科学	1・2・3・4前		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
ウイルスと人間 ウイルスと人間B	1・2・3・4後		2								カリキュラムの整備により科目名を変更(24)	
心理学への誘い	1・2・3・4前		2									
音楽の即興表現	1・2・3・4前		2									
死生学入門	1・2・3・4前		2									
健康科学	1・2・3・4後		2									
スポーツマッサージ入門	1・2・3・4前		2									
感性による造形	1・2・3・4前		2									

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全 学 共 通 教 育 科 目	スポーツとダイエットの科学	1・2・3・4前		2								
	かたちの不思議と幾何学的デザイン	1・2・3・4後		2								
	生命倫理	1・2・3・4前		2								
	医療の最先端	1・2・3・4前		2								
	社会における看護と介護	1・2・3・4後		2								
	社会の中の医療・医学	1・2・3・4後		2								
	人体の生命科学	1・2・3・4前		2								
	アウトドアパスーツⅠ	1・2・3・4前		2								
	アウトドアパスーツⅡ	1・2・3・4後		2								
	写真の歴史	1・2・3・4後		2								
	健康社会学	1・2・3・4後		2								
	社会と文化の心理学	1・2・3・4後		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	吹奏楽の楽しみ	1・2・3・4後		2								カリキュラムの整備により科目を変更(24)
	アンサンブルの楽しみ	1・2・3・4後		2								
	球技スポーツの魅力	1・2・3・4前		2								
	運動と遊び	1・2・3・4後		2								
	スポーツ考現学への誘い	1・2・3・4前		2								
	健康なからだ論	1・2・3・4前		2								
	パーソナリティ心理学	1・2・3・4前		2								
	こころの健康づくり	1・2・3・4前		2								
	ミュージカルを歌おう	1・2・3・4前		2								
	余暇社会の身体活動	1・2・3・4後		2								
	ピアノを弾こう	1・2・3・4後		2								
	音楽の分析と表現	1・2・3・4後		2								
	ダンス・セラピー	1・2・3・4後		2								
	東洋音楽鑑賞	1・2・3・4前		2								
異文化間コミュニケーション	1・2・3・4前		2									
アジアの人々	1・2・3・4後		2									
ボランティア理論	1・2・3・4前		2									
世界近現代史の潮流と日本	1・2・3・4後		2									
現代政治の 이슈	1・2・3・4後		2									
映像を通じて見る異文化	1・2・3・4前		2									
電子音楽の世界	1・2・3・4後		2									
実演・楽器学～管弦打楽器の特性と実践的編曲法	1・2・3・4後		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
暮らしの中の美と形	1・2・3・4後		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	

【専門科目】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 基 礎 科 目	共生科学入門	1前	2			1						
	生命環境基礎ゼミ	1前	2				3					
	生物資源論	2前	2			1	1					
	生物資源実習	2後	1			4	1			1		
	情報処理及び演習	1前	2									
	基礎統計学	2前	2									
	基礎統計学演習	2前	2									
	生命科学概論	2前		2								
	食物科学入門	1後	2			1	1					
	環境科学入門	1後		2								
	経済経営学入門	1前		2								
	リスクマネジメント概論	2後	2									
	生命倫理学	1後		2								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	理系共通科目	基礎数学	1前	2								
		基礎数学演習	1前	2								
		微積分学	1後		2							
		線形代数学	1後		2							
		基礎物理学	2前		2							
		基礎物理学	2後		2							
		化学概論	1前	2								
		基礎化学	1後	2								
		生物学概論	1前	2								
		基礎生物学	1後	2								
		生命科学方法論	3・4前		2							
環境健康科学	3・4後		2									
専門発展科目	ワイン微生物学	2前	ワ2	2		1						
	食品成分分析学	2前		2		1						
	農作物栽培学	2後		2		1						
	食品製造学	2後		2		1						
	食品栄養学	2後		2			1					
	基礎生化学実習	2後	4			4	7		3			
	発酵工業学	3前		2		1						
	微生物育種学	3後		2			1					
	機能成分学	3前		2			1					
	ワイン品質評価学	3後	ワ2	2		1						
	植物生理学	3前	ワ2	2			1					
	農作物病理学	3後		2			1					
	農作物生産学	2後		2			1					
	栽培植物育種法	3前		2		1						
	食品加工学	2後		2		1						
	食品保蔵学	3前		2			1					
	野菜園芸学	3後		1								
	野菜栽培実習	3後		2		1	1					
	生物化学工学	3前		2								
	応用微生物学	2前		2								
	生体物質論	2前		2								
	生体触媒学	2後		2							講義室調整により開講学期を変更(24)	
	発生工学	2後		2								
	構造生物学	3後		2								
	細胞培養工学	3後		2								
	環境保全学	3後		2								
	地球環境科学	1後		2								
	環境毒性学	3後		2								
	科学技術政策論	2後		2								
	経営学総論	2後		2								
	マーケティングと消費者行動	2後		2								
国際経営論	3後		2									
ワイン製造科学実習	3後	ワ2	2		2	1		2				
ブドウ栽培学実習	3後	ワ2				2						
醸造微生物実験	3前	2			1	1		1				
機能成分分析実験	3後	2			1	1		1				
果実遺伝子実験	3前	2				2						
農作物生産学実験	3前	2			1	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 発展 科目	食品製造学実験	3後	2			1	1					教員審査判定保留のため再審査 平成24年2月教員審査済(24)
	栄養学実験	3後	2				1		1			
	ワイン科学	1後	ワ2			2	4		2			
	ワイン科学	2前	ワ2			2	4		2			
	ワイン科学ゼミ	2後	ワ2			1	1		1			
	ワイン科学ゼミ	3前	ワ2			1	1		1			
専門 特別 科目	科学英語演習	4前	2			4	7		3			
	科学英語演習	4後	2			4	7		3			
	インターンシップ	2・3通	ワ1	1								
	インターンシップ	2・3通	ワ1	1								
	職業指導	2・3前		2								
	職業指導	2・3前		2								
	農業科教育法	2・3後		2								
	農業科教育法	2・3後		2								
	特別講義	4前		1								
	特別講義	4前		1								
	特別講義	3前	1									
	特別講義	3後	1									
地域食物科学卒業論文	4通	6			4	7		3				

- (注)・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任,兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で,前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し,「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお,昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については,見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で,専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては,「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には,「平成 年 月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について,設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても,設置認可時の状況を黒字で記入してください。また,前年度報告時より修正があれば,赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	ワイン科学特別コース
35	198	0	233	35	216	0	251	
				[ 0 ]	[ 18 ]	[ 0 ]	[ 18 ]	
(46)	(192)		(238)	(46)	(210)	(0)	(256)	
				[ (0) ]	[ (18) ]	[ (0) ]	[ (18) ]	

- (注)・ 未開講である場合や,配当年次に関わらず,教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など,別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに,[ ]内に,設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合: 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	未開講科目なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	日本文学作品論Ⅱ	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員退職のため
2	社会変動と人間	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員退職のため
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学共通教育科目を担当していた兼任教員が退職したことにより、廃止することになった。  
 当該科目は全学共通教育科目における教養教育科目部門に位置付ける科目であり、履修上の影響は無いと考える。  
 なお、学生に対しては、学生便覧及びホームページ等により周知済みである。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<生命環境学部 環境科学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教		助手
【全学共通教育科目】												
全 学 共 通 教 育 科 目	人間 形成 科目	生活と健康 I	1 前	1								
		生活と健康 II	1 後	1								
		人間形成論	1 前 <del>1-2前</del>		2							カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
		エンプロイアビリティ論 職業選択支援プログラム	1 後 <del>1-2前後</del>		2							カリキュラムの整備により科目名称及び配当年次を変更(24)
		キャリア形成のための作文演習	1 前後 <del>1-2前後</del>		2							カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
		キャリア形成論	1 前後		2							
	語 学 教 育 科 目	英語 A I	1 前	2								
		英語 A II	1 前	2								
		英語 A III	1 前	2								
		英語 B I	1 後	2								
		英語 B II	1 後	2								
		英語 B III	1 後	2								
		TOEFL I	1・2・3・4前		4							
		TOEFL II	1・2・3・4後		4							
		総合英語	2前後		2							
		英語リーディング・ライティング	2前後		2							
		英語リーディング・ライティング (上級)	2前後		2							
		英語オーラルコミュニケーション	2前後		2							
		英語オーラルコミュニケーション (上級)	2前後		2							
		e-ラーニング I	1・2・3・4前		1							
		e-ラーニング II	1・2・3・4後		1							
		e-ラーニング III	2・3・4 <del>1-2-3-4前</del>		1							カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
		e-ラーニング IV	2・3・4 <del>1-2-3-4前</del>		1							カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
		Intensive15- I (英語)	1・2・3・4前		1							
		Intensive15- II (英語)	1・2・3・4前		1							
		Intensive90- I (英語)	2・3・4前		6							
		Intensive90- II (英語)	2・3・4後		6							
		ドイツ語初級 I	1 前		2							
		ドイツ語初級 II	1 後		2							
		ドイツ語演習 I	1 前		2							
	ドイツ語演習 II	1 後		2								
	ドイツ語中級 I (総合)	2 前		2								
	ドイツ語中級 II (総合)	2 後		2								
	ドイツ語中級 I (コミュニケーション)	2 前		2							カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	ドイツ語中級 II (コミュニケーション)	2 前		2							カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	ドイツ語 Intensive90- I	2・3・4前		6								
ドイツ語 Intensive90- II	2・3・4後		6									
フランス語初級 I	1 前		2									
フランス語初級 II	1 後		2									
フランス語演習 I	1 前		2									

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全 学 科 目	フランス語演習Ⅱ	1後		2								
	フランス語中級Ⅰ（総合）	2前		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級Ⅱ（総合）	2後		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級Ⅰ（コミュニケーション）	2前		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級Ⅱ（コミュニケーション）	2後		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語Intensive90-Ⅰ	2・3・4前		6								カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語Intensive90-Ⅱ	2・3・4後		6								カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	中国語初級Ⅰ	1前		2								
	中国語初級Ⅱ	1後		2								
	中国語演習Ⅰ	1前		2								
	中国語演習Ⅱ	1後		2								
	中国語中級Ⅰ（総合）	2前		2								
	中国語中級Ⅰ（コミュニケーション）	2前		2								
	中国語中級Ⅱ（総合）	2後		2								
	中国語中級Ⅱ（コミュニケーション）	2後		2								
	中国語Intensive60-Ⅰ	2・3・4前		4								
中国語Intensive60-Ⅱ	2・3・4後		4									
スペイン語初級Ⅰ	1前		2									カリキュラムの整備により科目を追加(24)
スペイン語初級Ⅱ	1後		2									カリキュラムの整備により科目を追加(24)
スペイン語演習Ⅰ	1前		2									カリキュラムの整備により科目を追加(24)
スペイン語演習Ⅱ	1後		2									カリキュラムの整備により科目を追加(24)
共 通 教 育 科 目	<del>日本文学作品論Ⅱ</del>	<del>2・3・4後</del>		<del>2</del>								担当教員が退職したため、削除(24)
	国語表現	1・2・3・4前		2								
	日本古代の政治と文化	1・2・3・4後		2								
	考古学について	1・2・3・4前		2								
	メディアと人間	1・2・3・4後		2								
	子どもと文化	1・2・3・4後		2								
	ヨーロッパ中世の諸相	1・2・3・4後		2								
	山梨大学から見る大学の歴史と現在	1・2・3・4後		2								
	教育史を通して見る日本の近代現代	1・2・3・4前		2								
	小説における〈他者〉の問題	1・2・3・4後		2		1						
	ものといのち	1・2・3・4後		2								
	源氏物語を読む	1・2・3・4後		2								
	芸術における言語と身体 の思想 文化記号論	1・2・3・4後		2								カリキュラムの整備により科目を変更(24)
	日本語表現の現在	1・2・3・4後		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	経済学で目で見ると	1・2・3・4後		2								
	日本国憲法	1・2・3・4前		2								
	スポーツ映画に見る現代社会	1・2・3・4後		2								
	住まいの地方性	1・2・3・4前		2								
	山梨学	1・2・3・4前		2								
	<del>社会変動と人間</del>	<del>1・2・3・4後</del>		<del>2</del>								担当教員が退職したため、削除(24)
	特別支援教育総論	1・2・3・4前		2								
	現代日本の政治と政策	1・2・3・4後		2								
	投資と資産形成	1・2・3・4前		2								
理系女性のキャリア形成	1・2・3・4前		2									
科学・デザイン・コミュニケーション	1・2・3・4前		2									
生活設計論	1・2・3・4前		2									
企業概論	1・2・3・4前		2									
経営分析のためのデータ解析	1.2.3.4前		2									
現代社会と教育	1・2・3・4前		2									
こころと体の障害の理解と支援	1・2・3・4後		2									

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全 学 共 通 教 育 科 目	環境政策の展開	1・2・3・4前		2								
	映像で考える子どもと教育	1・2・3・4前		2								
	人間理解の心理学	1・2・3・4前		2								
	放射線と現代	1・2・3・4後		2		1						
	教育問題から見た現代社会	1・2・3・4後		2								
	保育・子育ての現在	1・2・3・4後		2								
	哲学のさまざまな問題	1・2・3・4後		2								
	経営管理（マネジメント）	1・2・3・4後		2								
	子どもとジェンダー	1・2・3・4前		2								
	思考の整理術	1・2・3・4前		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	科学技術史入門	1・2・3・4後		2								
	天文学への誘い	1・2・3・4後		2								
	確率の見方	1・2・3・4後		2								
	ヒトに至る生命の歴史	1・2・3・4前		2								
	生物学の様子	1・2・3・4後		2								
	染色の科学	1・2・3・4後		2								
	子どもと自然	1・2・3・4後		2								
	材料と技術	1・2・3・4前		2								
	家庭の中のエレクトロニクス	1・2・3・4前		2								
	人間とコンピュータ	1・2・3・4後		2								
	現代生活とバイオテクノロジー	1・2・3・4後		2								
	地球環境化学とエネルギー	1・2・3・4後		2								
	ワインと宝石	1・2・3・4前		2								
	これからの機械技術	1・2・3・4前		2								
	人間と機械	1・2・3・4後		2								
	地球の見方	1・2・3・4前		2								
	医工学と現代社会	1・2・3・4前		2								
	一般相対性理論への招待	1・2・3・4後		2								
	クリスタルサイエンス	1・2・3・4後		2								
	ワイン製造及び体験実習	1・2・3・4前		2								
	生命科学と社会	1・2・3・4前		2								
	数理の発想でみる自然・社会・人間	1・2・3・4前		2								
	電気とコンピュータ	1・2・3・4後		2								
	水圏植物の生物学	1・2・3・4後		2								
	子どもと事象の数理	1・2・3・4後		2								
	数学の見方	1・2・3・4前		2								
	依存の科学	1・2・3・4前		2								
	ガイア仮説と地球システム科学	1・2・3・4前		2					1			
	エントロピーと環境問題 魔方陣から現代数学へ	1・2・3・4前		2								カリキュラムの整備により科目を変更(24)
	物理パズルで親しむ身近な自然現象	1・2・3・4前		2								
自然災害と都市防災	1・2・3・4前		2									
頭と身体の運動学	1・2・3・4前		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
高分子材料化学	1・2・3・4前		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
光る分子の科学	1・2・3・4前		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
ウイルスと人間 <del>ウイルスと人間</del>	1・2・3・4後		2								カリキュラムの整備により科目名を変更(24)	
心理学への誘い	1・2・3・4前		2									
音楽の即興表現	1・2・3・4前		2									
死生学入門	1・2・3・4前		2									
健康科学	1・2・3・4後		2									
スポーツマッサージ入門	1・2・3・4前		2									

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全 学 共 通 教 育 科 目	感性による造形	1・2・3・4前		2								
	スポーツとダイエットの科学	1・2・3・4前		2								
	かたちの不思議と幾何学的デザイン	1・2・3・4後		2								
	生命倫理	1・2・3・4前		2								
	医療の最先端	1・2・3・4前		2								
	社会における看護と介護	1・2・3・4後		2								
	社会の中の医療・医学	1・2・3・4後		2								
	人体の生命科学	1・2・3・4前		2								
	アウトドアパサーツⅠ	1・2・3・4前		2								
	アウトドアパサーツⅡ	1・2・3・4後		2								
	写真の歴史	1・2・3・4後		2								
	健康社会学	1・2・3・4後		2								
	社会と文化の心理学	1・2・3・4後		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	吹奏楽の楽しみ	1・2・3・4後		2								カリキュラムの整備により科目を変更(24)
	アンサンブルの楽しみ											
	球技スポーツの魅力	1・2・3・4前		2								
	運動と遊び	1・2・3・4後		2								
	スポーツ考現学への誘い	1・2・3・4前		2								
	健康なからだ論	1・2・3・4前		2								
	パーソナリティ心理学	1・2・3・4前		2								
	こころの健康づくり	1・2・3・4前		2								
	ミュージカルを歌おう	1・2・3・4前		2								
	余暇社会の身体活動	1・2・3・4後		2								
	ピアノを弾こう	1・2・3・4後		2								
	音楽の分析と表現	1・2・3・4後		2								
	ダンス・セラピー	1・2・3・4後		2								
	東洋音楽鑑賞	1・2・3・4前		2								
	異文化間コミュニケーション	1・2・3・4前		2								
アジアの人々	1・2・3・4後		2									
ボランティア理論	1・2・3・4前		2									
世界近現代史の潮流と日本	1・2・3・4後		2									
現代政治のイシュー	1・2・3・4後		2									
映像を通じて見る異文化	1・2・3・4前		2									
電子音楽の世界	1・2・3・4後		2									
実演・楽器学～管弦打楽器の特性と実践的編曲法	1・2・3・4後		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
暮らしの中の美と形	1・2・3・4後		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	

【専門科目】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 基 礎 科 目	共生科学入門	1前	2			1						
	生命環境基礎ゼミ	1前	2			1	1		1			
	生物資源論	2前	2									
	生物資源実習	2後	1									
	情報処理及び演習	1前	2						1			
	基礎統計学	2前	2									
	基礎統計学演習	2前	2									
	生命科学概論	2前		2								
	食物科学入門	1後		2								
	環境科学入門	1後	2			1						
	経済経営学入門	1前		2								
	リスクマネジメント概論	2後	2			1						
	生命倫理学	1後		2								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	基礎数学	1前	2									
	基礎数学演習	1前	2									
	微積分学	1後	2				1					
	線形代数学	1後	2				1					
	基礎物理学Ⅰ	2前	2			1						
	基礎物理学Ⅱ	2後	2	2			1					
	化学概論	1前	2					1				
	基礎化学	1後	2	2								
	生物学概論	1前	2			1						
	基礎生物学	1後	2	2								
	生命科学方法論	3・4前	2									
	環境健康科学	3・4後	2									
専門発展科目	地球環境科学	1後	2				2					
	生態学	1後	2	2			1					
	気象学	2前	2	2			1					
	微生物生態学	2前	2	2					1			
	環境情報学及び実習	2前	2	2					1			
	水循環学	2前	2	2			1					
	水圏科学	2後	2	2			1					
	土壌科学	2後	2	2		1	1					
	大気環境科学	2後	2	2			1					
	システムダイナミクス及び実習	2後	2	2		1						
	環境分析化学Ⅰ	3前	2	2				1				
	環境分析化学Ⅱ	3前	2	2		1						
	多様性生物論	3前	2	2			1					
	環境影響評価	3後	2	2		1						
	環境モデリング及び実習	3後	2	2			1					
	環境保全学	3後	2	2		2			1			
	環境化学	3後	2	2				1				
	資源循環型ものづくり実習	1前	2	2		1						
	環境科学基礎実験Ⅰ	2前	2			1	1	1	1			
	環境科学基礎実験Ⅱ	2後	2			2	4		2			
	環境計測実習	3前	2	2		1	3					
	環境調査実習	3前	2	2		1	1		1			
	地圏科学実習	3前	2	2		1	1		2			
	環境アセスメント実習	3後	2	2		1	1	1	1			
	環境マネジメント実習	3後	2	2		2	1		2			
	環境毒性学	3後	2	2								
	植物生態学	3後	2	2								
	バイオインフォマティクス	3前	2	2								
	遺伝子工学	3前	2	2								
	発酵工業学	3前	2	2								
	経営学総論	1後	2	2								
	データサイエンス及び演習	2後	2	2								
科学技術政策論	2後	2	2									
エネルギーマネジメント	2後	2	2									
環境政治論	2後	2	2									
環境経済政策論	2後	2	2									
社会数理システム	3後	2	2									
環境法	3後	2	2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門特別科目	科学英語演習Ⅰ	3前	1			5	6	1	3		
	科学英語演習Ⅱ	3後	1			5	6	1	3		
	科学英語演習Ⅲ	4前	1			5	6	1	3		
	科学英語演習Ⅳ	4後	1			5	6	1	3		
	特別講義Ⅰ	3・4前		1							
	特別講義Ⅱ	3・4前		1							
	特別講義Ⅲ	3・4前		1							
	特別講義Ⅳ	3・4前		1							
	インターンシップⅠ	2・3通		1							履修時期弾力化のため配当年次を追加 (24)
	インターンシップⅡ	2・3通		1							履修時期弾力化のため配当年次を追加 (24)
	環境科学卒業論文	4通		6			5	6	1	3	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
32	198	0	230	32	216	0	248	
				[ 0 ]	[ 18 ]	[ 0 ]	[ 18 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	未開講科目なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	日本文学作品論Ⅱ	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員退職のため
2	社会変動と人間	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員退職のため
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学共通教育科目を担当していた兼任教員が退職したことにより、廃止することになった。  
 当該科目は全学共通教育科目における教養教育科目部門に位置付ける科目であり、履修上の影響は無いと考える。  
 なお、学生に対しては、学生便覧及びホームページ等により周知済みである。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<生命環境学部 地域社会システム学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教		助手
【全学共通教育科目】												
全 学 共 通 教 育 科 目	人間形成科目	生活と健康 I	1 前	1								
		生活と健康 II	1 後	1								
		人間形成論	1 前 <del>1-2 前</del>		2							カリキュラムの整備により配当年次を変更 (24)
		エンプロイアビリティ論 職業選択支援プログラム	1 後 <del>1-2 前後</del>		2							カリキュラムの整備により科目名称 及び配当年次を変更 (24)
		キャリア形成のための作文演習	1 前後 <del>1-2 前後</del>		2							カリキュラムの整備により配当年次を変更 (24)
		キャリア形成論	1 前後		2							
		英語 A I	1 前		2							
		英語 A II	1 前		2							
		英語 A III	1 前		2							
		英語 B I	1 後		2							
		英語 B II	1 後		2							
		英語 B III	1 後		2							
		TOEFL I	1-2-3-4 前		4							
		TOEFL II	1-2-3-4 後		4							
		総合英語	2 前後		2							
		英語リーディング・ライティング	2 前後		2							
		英語リーディング・ライティング (上級)	2 前後		2							
		英語オーラルコミュニケーション	2 前後		2							
		英語オーラルコミュニケーション (上級)	2 前後		2							
		e-ラーニング I	1-2-3-4 前		1							
		e-ラーニング II	1-2-3-4 後		1							
		e-ラーニング III	2-3-4 前 <del>1-2-3-4 前</del>		1							カリキュラムの整備により配当年次を変更 (24)
		e-ラーニング IV	2-3-4 前 <del>1-2-3-4 前</del>		1							カリキュラムの整備により配当年次を変更 (24)
		Intensive15- I (英語)	1-2-3-4 前		1							
		Intensive15- II (英語)	1-2-3-4 前		1							
		Intensive90- I (英語)	2-3-4 前		6							
		Intensive90- II (英語)	2-3-4 後		6							
		ドイツ語初級 I	1 前		2							
		ドイツ語初級 II	1 後		2							
		ドイツ語演習 I	1 前		2							
		ドイツ語演習 II	1 後		2							
		ドイツ語中級 I (総合)	2 前		2							
		ドイツ語中級 II (総合)	2 後		2							
	ドイツ語中級 I (コミュニケーション)	2 前		2							カリキュラムの整備により科目を追加 (24)	
	ドイツ語中級 II (コミュニケーション)	2 前		2							カリキュラムの整備により科目を追加 (24)	
	ドイツ語 Intensive90- I	2-3-4 前		6								
	ドイツ語 Intensive90- II	2-3-4 後		6								
	フランス語初級 I	1 前		2								
	フランス語初級 II	1 後		2								
	フランス語演習 I	1 前		2								

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
全 学 科 目	フランス語演習Ⅱ	1後		2									
	フランス語中級Ⅰ（総合）	2前		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	フランス語中級Ⅱ（総合）	2後		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	フランス語中級Ⅰ（コミュニケーション）	2前		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	フランス語中級Ⅱ（コミュニケーション）	2後		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	フランス語Intensive90-Ⅰ	2・3・4前		6								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	フランス語Intensive90-Ⅱ	2・3・4後		6								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	中国語初級Ⅰ	1前		2									
	中国語初級Ⅱ	1後		2									
	中国語演習Ⅰ	1前		2									
	中国語演習Ⅱ	1後		2									
	中国語中級Ⅰ（総合）	2前		2									
	中国語中級Ⅰ（コミュニケーション）	2前		2									
	中国語中級Ⅱ（総合）	2後		2									
	中国語中級Ⅱ（コミュニケーション）	2後		2									
	中国語Intensive60-Ⅰ	2・3・4前		4									
中国語Intensive60-Ⅱ	2・3・4後		4										
スペイン語初級Ⅰ	1前		2									カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
スペイン語初級Ⅱ	1後		2									カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
スペイン語演習Ⅰ	1前		2									カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
スペイン語演習Ⅱ	1後		2									カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
共 通 教 育 科 目	<del>日本文学作品論Ⅱ</del>	<del>2・3・4後</del>		<del>2</del>								担当教員が退職したため、削除(24)	
	国語表現	1・2・3・4前		2									
	日本古代の政治と文化	1・2・3・4後		2									
	考古学について	1・2・3・4前		2									
	メディアと人間	1・2・3・4後		2									
	子どもと文化	1・2・3・4後		2									
	ヨーロッパ中世の諸相	1・2・3・4後		2									
	山梨大学から見る大学の歴史と現在	1・2・3・4後		2									
	教育史を通して見る日本の近代現代	1・2・3・4前		2									
	小説における〈他者〉の問題	1・2・3・4後		2									
	ものといのち	1・2・3・4後		2									
	源氏物語を読む	1・2・3・4後		2									
	芸術における言語と身体 の思想 文化記号論	1・2・3・4後		2									カリキュラムの整備により科目を変更(24)
	日本語表現の現在	1・2・3・4後		2									カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	経済学のみで見ると	1・2・3・4後		2									
	日本国憲法	1・2・3・4前		2			1						
	スポーツ映画に見る現代社会	1・2・3・4後		2									
	住まいの地方性	1・2・3・4前		2									
	山梨学	1・2・3・4前		2									
	<del>社会変動と人間</del>	<del>1・2・3・4後</del>		<del>2</del>									担当教員が退職したため、削除(24)
	特別支援教育総論	1・2・3・4前		2									
	現代日本の政治と政策	1・2・3・4後		2			1						
投資と資産形成	1・2・3・4前		2										
理系女性のキャリア形成	1・2・3・4前		2										
科学・デザイン・コミュニケーション	1・2・3・4前		2										
生活設計論	1・2・3・4前		2										
企業概論	1・2・3・4前		2										
経営分析のためのデータ解析	1.2.3.4前		2			1							
現代社会と教育	1・2・3・4前		2										
こころと体の障害の理解と支援	1・2・3・4後		2										

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全 学 共 通 教 育 科 目	環境政策の展開	1・2・3・4前		2				1				
	映像で考える子どもと教育	1・2・3・4前		2								
	人間理解の心理学	1・2・3・4前		2								
	放射線と現代	1・2・3・4後		2			1					
	教育問題から見た現代社会	1・2・3・4後		2								
	保育・子育ての現在	1・2・3・4後		2								
	哲学のさまざまな問題	1・2・3・4後		2								
	経営管理（マネジメント）	1・2・3・4後		2								
	子どもとジェンダー	1・2・3・4前		2								
	思考の整理術	1・2・3・4前		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	科学技術史入門	1・2・3・4後		2								
	天文学への誘い	1・2・3・4後		2								
	確率の見方	1・2・3・4後		2								
	ヒトに至る生命の歴史	1・2・3・4前		2								
	生物学の様子	1・2・3・4後		2								
	染色の科学	1・2・3・4後		2								
	子どもと自然	1・2・3・4後		2								
	材料と技術	1・2・3・4前		2								
	家庭の中のエレクトロニクス	1・2・3・4前		2								
	人間とコンピュータ	1・2・3・4後		2								
	現代生活とバイオテクノロジー	1・2・3・4後		2								
	地球環境化学とエネルギー	1・2・3・4後		2								
	ワインと宝石	1・2・3・4前		2								
	これからの機械技術	1・2・3・4前		2								
	人間と機械	1・2・3・4後		2								
	地球の見方	1・2・3・4前		2								
	医工学と現代社会	1・2・3・4前		2								
	一般相対性理論への招待	1・2・3・4後		2								
	クリスタルサイエンス	1・2・3・4後		2								
	ワイン製造及び体験実習	1・2・3・4前		2				1				
	生命科学と社会	1・2・3・4前		2								
	数理の発想でみる自然・社会・人間	1・2・3・4前		2								
	電気とコンピュータ	1・2・3・4後		2								
	水圏植物の生物学	1・2・3・4後		2								
	子どもと事象の数理	1・2・3・4後		2								
	数学の見方	1・2・3・4前		2								
	依存の科学	1・2・3・4前		2								
	ガイア仮説と地球システム科学	1・2・3・4前		2								
	エントロピーと環境問題 魔方陣から現代数学へ	1・2・3・4前		2								カリキュラムの整備により科目を変更(24)
	物理パズルで親しむ身近な自然現象	1・2・3・4前		2								
自然災害と都市防災	1・2・3・4前		2									
頭と身体の運動学	1・2・3・4前		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
高分子材料化学	1・2・3・4前		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
光る分子の科学	1・2・3・4前		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
ウイルスと人間 <del>ウイルスと人間</del>	1・2・3・4後		2								カリキュラムの整備により科目名を変更(24)	
心理学への誘い	1・2・3・4前		2									
音楽の即興表現	1・2・3・4前		2									
死生学入門	1・2・3・4前		2									
健康科学	1・2・3・4後		2									
スポーツマッサージ入門	1・2・3・4前		2									

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全 学 共 通 教 育 科 目	感性による造形	1・2・3・4前		2								
	スポーツとダイエットの科学	1・2・3・4前		2								
	かたちの不思議と幾何学的デザイン	1・2・3・4後		2								
	生命倫理	1・2・3・4前		2								
	医療の最先端	1・2・3・4前		2								
	社会における看護と介護	1・2・3・4後		2								
	社会の中の医療・医学	1・2・3・4後		2								
	人体の生命科学	1・2・3・4前		2								
	アウトドアパスーツⅠ	1・2・3・4前		2								
	アウトドアパスーツⅡ	1・2・3・4後		2								
	写真の歴史	1・2・3・4後		2								
	健康社会学	1・2・3・4後		2								
	社会と文化の心理学	1・2・3・4後		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	吹奏楽の楽しみ	1・2・3・4後		2								カリキュラムの整備により科目を変更(24)
	アンサンブルの楽しみ											
	球技スポーツの魅力	1・2・3・4前		2								
	運動と遊び	1・2・3・4後		2								
	スポーツ考現学への誘い	1・2・3・4前		2								
	健康なからだ論	1・2・3・4前		2								
	パーソナリティ心理学	1・2・3・4前		2								
	こころの健康づくり	1・2・3・4前		2								
	ミュージカルを歌おう	1・2・3・4前		2								
	余暇社会の身体活動	1・2・3・4後		2								
	ピアノを弾こう	1・2・3・4後		2								
	音楽の分析と表現	1・2・3・4後		2								
	ダンス・セラピー	1・2・3・4後		2								
	東洋音楽鑑賞	1・2・3・4前		2								
	異文化間コミュニケーション	1・2・3・4前		2								
アジアの人々	1・2・3・4後		2									
ボランティア理論	1・2・3・4前		2									
世界近現代史の潮流と日本	1・2・3・4後		2				1					
現代政治の 이슈ー	1・2・3・4後		2				1					
映像を通じて見る異文化	1・2・3・4前		2									
電子音楽の世界	1・2・3・4後		2									
実演・楽器学～管弦打楽器の特性と実践的編曲法	1・2・3・4後		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
暮らしの中の美と形	1・2・3・4後		2								カリキュラムの整備により科目を追加(24)	

【専門科目】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 基 礎 科 目	共生科学入門	1前	2				1					
	生命環境基礎ゼミ	1前	2			1	1	1				
	生物資源論	2前	2									
	生物資源実習	2後	1									
	情報処理及び演習	1前	2				1					
	基礎統計学	2前	2				1					
	基礎統計学演習	2前	2				1					
	生命科学概論	2前		2								
	食物科学入門	1後		2								
	環境科学入門	1後		2								
	経済経営学入門	1前	2			1	2					
	リスクマネジメント概論	2後	2				1					
	生命倫理学	1後		2								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 発展 科目	経営学総論	1後	2			1						
	経営戦略論	2前		2			1					
	国際経営論	3後		2			1					
	エネルギーマネジメント	2後		2			1					
	簿記学	3前		2								
	会計学	3後		2								
	マーケティングと消費者行動	2後		2		1						平成24年8月 提出予定
	数理計画法	3前		2			1					
	サービス産業論	3前		2			1					
	人的資源管理論	3前		2		1						
	地域計画学	2後		2		1						
	地域経営論	3前		2		1						
	地域共生デザイン	3前		2		1						
	経済・経営数学	1後	2				1					
	経済学概論	1後	2			1						
	マクロ経済学	2前		2		1						
	ミクロ経済学	2前		2		1						
	食料問題とグローバル経済	3前		2		1						
	公共経済学	2後		2		1						
	経済地理学	2後		2					1			
	計量経済学	3後		2		1						
	財政学	2前		2			1					
	地方財政学	2後		2			1					
	環境経済政策論	2後		2				1				
	政治学原論	2前	2			1						
	行政学	2前		2		1						
	地方自治論	2後		2		1						
	環境政治論	2後		2		1						
	政策過程論	3前		2		1						
	国際関係論Ⅰ	2後		2		1						
	国際関係論Ⅱ	3前		2		1						
	科学技術政策論	2後		2		1						
	法律学概論	1後	2			1						
	行政法	3前		2								
	環境法	3後		2								
	民法総論	2前		2		1						平成24年8月 提出予定
	民法各論	2後		2								
	商法	2後		2		1						平成24年8月 提出予定
	労働法	3前		2		1						
	統治機構論	2前		2			1					
比較憲法論	3前		2			1						
基礎数学	1前		2			1			1			
基礎数学演習	1前		2			1			1			
社会数理システム	3後		2			1						
データサイエンス及び演習	2後		2			1						
社会調査法	2後		2		1							
生体物質論	4前		2									
構造生物学	3後		2									
バイオインフォマティクス	4前		2									
農作物栽培学	3後		2									
食品製造学	3後		2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 科目 発展	環境影響評価	3後		2								
	環境保全学	3後		2								
	地球環境科学	3後		2								
専門 特別 科目	地域社会システム学セミナーI 社会経営学セミナーI	3前	2			6	10	1	1		学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月 提出予定	
	地域社会システム学セミナーII 社会経営学セミナーII	3前		2		6	10	1	1		学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月 提出予定	
	地域社会システム学実習I 社会経営学実習I	2後		2		4	2				学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月 提出予定	
	地域社会システム学実習II 社会経営学実習II	3前		2		1	2				学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月 提出予定	
	地域社会システム学演習 社会経営学演習	3後	2			6	10	1	1		学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月 提出予定	
	インターンシップI	3前		1								
	インターンシップII	3前		1								
	職業指導	3前		2								
	商業科教育法I	2後		2								
	商業科教育法II	2後		2								
地域社会システム学卒業論文 社会経営学卒業論文	4通	6			6	10	1	1		学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月 提出予定		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 25	科目 209	科目 234	科目 252	科目 [ 0 ]	科目 [ 18 ]	科目 [ 0 ]	科目 [ 18 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	未開講科目なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	日本文学作品論Ⅱ	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員退職のため
2	社会変動と人間	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員退職のため
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学共通教育科目を担当していた兼任教員が退職したことにより、廃止することになった。  
 当該科目は全学共通教育科目における教養教育科目部門に位置付ける科目であり、履修上の影響は無いと考える。  
 なお、学生に対しては、学生便覧及びホームページ等により周知済みである。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	239,371㎡	0㎡	0㎡	239,371㎡				
	運動場用地	73,302㎡	0㎡	0㎡	73,302㎡				
	小 計	312,673㎡	0㎡	0㎡	312,673㎡				
	そ の 他	259,815㎡	0㎡	0㎡	259,815㎡				
	合 計	572,488㎡	0㎡	0㎡	572,488㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		128,955㎡ (128,955㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	128,995㎡ (128,995㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	111室	28室	202室	7室	1室				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	生命環境学部			62 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
	生命環境学部	658,835 [189,530] (630,535 [185,430])	41,865 [4,495]	5,080 [5,080]	5,117 (4,386)	5,234 (5,234)	130 (130)		
	計	658,835 [189,530] (630,535 [185,430])	41,865 [4,495]	5,080 [5,080]	5,117 (4,386)	5,234 (5,234)	130 (130)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	7,512㎡		552		598,000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	2,743㎡		野球場 2面 テニスコート 17面		小体育館、武道場、弓道場、プール ほか				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費（運営費交付金） による
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	－千円	－千円	図書購入費	－千円	－千円	－千円	
	共 同 研 究 費 等	－千円	－千円	設備購入費	－千円	－千円	－千円		
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		－千円	－千円	－千円	－千円	－千円	－千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	山梨大学								備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地			
	年	人	年次人	人		倍					
教育人間科学部											
学校教育課程	4	125	—	425	学士(教育)	1.11	平成10年度	山梨県甲府市 武田四丁目 4-37	平成24年度より 学生募集停止		
生涯学習課程	4	20	—	80	学士(教養)	1.13	〃				
国際共生社会課程	4	—	—	—	学士(教養)	—	〃				
ソフサイエンス課程	4	—	—	—	学士(教養)	—	〃				
医学部											
医学科	6	125	—	705	学士(医学)	1.01	昭和55年度	山梨県中央市 下河東1110 番地			
看護学科	4	60	3年次10	260	学士(看護学)	1.04	平成7年度				
工学部											
機械工学科	4	55	3年次10	55	学士(工学)	1.12	平成24年度	山梨県甲府市 武田四丁目 3-11	平成24年度より 学生募集停止		
電気電子工学科	4	55	3年次5	55	学士(工学)	1.14	〃				
コンピュータ理工学科	4	55	3年次5	55	学士(工学)	1.07	〃				
情報メディア工学科	4	55	—	55	学士(工学)	1.10	〃				
土木環境工学科	4	55	—	55	学士(工学)	1.07	〃				
応用化学科	4	55	—	55	学士(工学)	1.10	〃				
先端材料理工学科	4	35	—	35	学士(工学)	1.11	〃				
機械システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成元年度				
電気電子システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成10年度				
コンピュータ・メディア工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	〃				
土木環境工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成元年度				
応用化学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成16年度				
生命工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	〃				
循環システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成10年度				
生命環境学部											
生命工学科	4	35	—	35	学士(生命工学)	1.08	平成24年度			山梨県甲府市 武田四丁目 4-37	
地域食物科学科	4	30	—	30	学士(農学)	1.16	〃				
環境科学科	4	30	—	35	学士(環境科学)	1.06	〃				
地域社会システム学科	4	35	—	35	学士(社会科学)	1.05	〃				

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校(AC対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。  
 (専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)  
 ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。  
 ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<生命環境学部 生命工学科>

### (1) 担当教員表

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	宮川 洋三	平成24年4月	生体物質論 共生科学入門※ 遺伝科学概論 生化学演習 技術英語Ⅰ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文 医工学と現代社会 現代生活とバイオテクノロジー						
専	教授	宇井 定春	平成24年4月	生体触媒学 基礎生物学 細胞生理学 生物工学実験Ⅳ 技術英語Ⅱ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文 現代生活とバイオテクノロジー						
専	教授	楠木 正巳	平成24年4月	構造生物学 生物物理化学 生物工学実験Ⅰ 技術英語Ⅰ バイオインフォマティクス 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文 現代生活とバイオテクノロジー						
専	教授	早川 正幸	平成24年4月	応用微生物学Ⅱ 応用微生物学Ⅰ 生物工学実験Ⅲ ゲノミクス演習 技術英語Ⅰ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文 現代生活とバイオテクノロジー						
専	教授	黒澤 尋	平成24年4月	生物化学工学Ⅰ 生物化学工学Ⅱ 細胞培養工学 生物工学実験Ⅱ 技術英語Ⅰ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文 現代生活とバイオテクノロジー						
専	教授	若山 照彦	平成24年4月	発生工学 生命環境基礎ゼミ 動物解剖学 発生工学基礎実習 技術英語Ⅰ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文						
専	准教授	中村 和夫	平成24年4月	生物無機化学 生物分析化学 生物工学実験Ⅱ 技術英語Ⅱ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文 現代生活とバイオテクノロジー						

認可時の計画				変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	
専	准教授	大槻 隆司	平成24年4月	生命科学概論 生命環境基礎ゼミ 生物工学実験Ⅳ 技術英語Ⅱ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文 現代生活とバイオテクノロジー					
専	准教授	新森 英之	平成24年4月	生物有機化学 基礎化学 化学実験 技術英語Ⅱ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文 現代生活とバイオテクノロジー					
専	准教授	野田 悟子	平成24年4月	遺伝子工学 生命環境基礎ゼミ 生物工学実験Ⅳ 技術英語Ⅱ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文 現代生活とバイオテクノロジー					
専	助教	大山 拓次	平成24年4月	生物工学実験Ⅰ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文					
専	助教	中川 洋史	平成24年4月	生化学演習 生物工学実験Ⅲ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文					
専	助教	小久保 晋	平成24年4月	化学実験 生命工学卒業論文					
専	助教	水谷 英二	平成24年4月	発生物学基礎実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文					
専	助教	山村 英樹	平成24年4月	生物工学実験Ⅲ ゲノミクス演習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 生命工学卒業論文					
兼任	教授	北村 眞一	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ					
兼任	教授	新藤 純子	平成24年4月	環境科学入門 環境保全学					
兼任	教授	香川 知晶	平成24年4月	生命倫理学					
兼任	教授	坂本 康	平成24年4月	環境保全学					
兼任	教授	谷本 守正	平成24年4月	生物資源実習 食物科学入門 食品加工学 基礎生化学実習					
兼任	教授	御園生 拓	平成24年4月	生物学概論 放射線と現代 ものとのち					
兼任	教授	竹内 智	平成24年4月	共生科学入門※ 基礎物理学Ⅰ					
兼任	教授	風間 ふたば	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ リスクマネジメント概論					

認可時の計画				変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	
兼任	教授	西久保 浩二	平成24年4月	経済経営学入門 経営学総論 経営分析のためのデータ解析					
兼任	教授	柳田 藤寿	平成24年4月	生物資源実習 発酵工業学 基礎生化学実習 ワインと宝石					
兼任	教授	村松 昇	平成24年4月	共生科学入門※ 生物資源論 生物資源実習 栽培植物育種法 基礎生化学実習					
兼任	教授	奥田 徹	平成24年4月	生物資源実習 食品成分分析学 基礎生化学実習 ワインと宝石					
兼任	教授	大野 伸一	平成26年4月	生命科学方法論					
兼任	教授	佐藤 悠	平成26年4月	生命科学方法論					
兼任	教授	有田 順	平成26年4月	環境健康科学					
兼任	教授	三井 和浩	平成26年4月	環境健康科学					
兼任	教授	山縣然太郎	平成26年4月	環境健康科学					
兼任	教授	範 江林	平成26年4月	生命科学方法論					
兼任	教授	秋山 真治	平成26年4月	生命科学方法論					
兼任	教授	北村 正敬	平成26年4月	環境健康科学					
兼任	教授	平 敬宏	平成26年4月	生命科学方法論					
兼任	教授	宮澤 恵二	平成26年4月	生命科学方法論					
兼任	教授	久保田健夫	平成26年4月	環境健康科学					
兼任	教授	中尾 篤人	平成26年4月	環境健康科学					
兼任	教授	小泉 修一	平成26年4月	生命科学方法論					
兼任	教授	森石 恆司	平成26年4月	環境健康科学					
兼任	教授	安達 登	平成26年4月	生命科学方法論					
兼任	教授	竹田 扇	平成26年4月	生命科学方法論					
兼任	教授	大塚 稔久	平成26年4月	生命科学方法論					
兼任	教授	中本 和典	平成26年4月	生命科学方法論					
兼任	准教授	山下 裕之	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 生物資源論 基礎生化学実習					
兼任	准教授	高橋 智子	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ リスクマネジメント概論 科学技術政策論 放射線と現代					

認可時の計画				変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		担当授業科目名
兼任	准教授	伊藤 一帆	平成24年4月	基礎数学 基礎数学演習						
兼任	准教授	岸本 宗和	平成24年4月	微生物種学 基礎生化学実習 ワインと宝石 ワイン製造及び体験実習						
兼任	准教授	金 基成	平成24年4月	共生科学入門※ 現代政治のインシュー						
兼任	准教授	三木 健夫	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 基礎生化学実習						
兼任	准教授	松本 潔	平成24年4月	地球環境科学 ゲイア仮説と地球システム科学						
兼任	准教授	鈴木 俊二	平成24年4月	農作物病理学 基礎生化学実習 ワインと宝石						
兼任	准教授	門野 圭司	平成24年4月	経済経営学入門						
兼任	准教授	小林 拓	平成24年4月	地球環境科学						
兼任	准教授	島崎 洋一	平成24年4月	情報処理及び演習						
兼任	准教授	望月 和樹	平成24年4月	生物資源実習 食物科学入門 基礎生化学実習						
兼任	准教授	久本 雅嗣	平成24年4月	基礎生化学実習 ワインと宝石						
兼任	准教授	竹之内 玲子	平成24年4月	経済経営学入門						
兼任	准教授	石塚 迅	平成24年4月	法律学概論 日本国憲法						
兼任	准教授	中田 美紀	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 基礎生化学実習						
兼任	准教授	岩田 智也	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ						
兼任	准教授	島 弘幸	平成24年4月	微積分学 線形代数 基礎物理学Ⅱ						
兼任	准教授	下川 敏雄	平成24年4月	基礎統計学 基礎統計学演習						
兼任	講師	喜多川 進	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 環境政策の展開						
兼任	講師	鈴木 保任	平成24年4月	化学概論						
兼任	講師	三枝 岳志	平成26年4月	生命科学方法論						
兼任	講師	西郷 達彦	平成26年4月	生命科学方法論						
兼任	助教	田中 靖浩	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ						
兼任	助教	乙黒(小林) 美彩	平成24年4月	基礎生化学実習						
兼任	助教	馬籠 純	平成24年4月	情報処理及び演習						
兼任	助教	宮川 雅至	平成24年4月	基礎数学 基礎数学演習						
兼任	助教	片岡 良太	平成24年4月	環境保全学						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	助教	山下 さやか	平成24年4月	生物資源実習 基礎生化学実習						
兼任	助教	斉藤 史恵	平成24年4月	基礎生化学実習						
兼任	講師	長谷川 達也	平成26年4月	環境毒性学						
兼任	講師	千野 正雄	平成27年4月	特別講義Ⅱ						
兼任	講師	長谷 俊治	平成27年4月	特別講義Ⅲ						
兼任	講師	大川 栄一	平成27年4月	特別講義Ⅰ						
兼任	講師	大熊 盛也	平成27年4月	特別講義Ⅳ						

(注)・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。
- ・専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

## (2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
6	4	0	5	15	0	6	4	0	5	15	0	
(6)	(4)	(0)	(5)	(15)	(0)	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

(注)・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1		該当なし	
2			
3			

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 5 教員組織の状況

<生命環境学部 地域食物科学科>

### (1) 担当教員表

認可時の計画				変更状況				備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月
専	教授	谷本 守正	平成24年4月	食品製造学 生物資源実習 食物科学入門 基礎生化学実習 食品加工学 食品製造学実験 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文					
専	教授	柳田 藤寿	平成24年4月	発酵工業学 生物資源実習 ワイン微生物学 基礎生化学実習 ワイン製造科学実習 醸造微生物実験 ワイン科学Ⅰ ワイン科学Ⅱ ワイン科学ゼミⅠ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文 ワインと宝石					
専	教授	村松 昇	平成24年4月	農作物栽培学 共生科学入門※ 生物資源論 生物資源実習 基礎生化学実習 栽培植物育種法 野菜栽培実習 農作物生産学実験 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文					
専	教授	奥田 徹	平成24年4月	食品成分分析学 生物資源実習 基礎生化学実習 ワイン品質評価学 ワイン製造科学実習 機能成分分析実験 ワイン科学Ⅰ ワイン科学Ⅱ ワイン科学ゼミⅡ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文 ワインと宝石					
専	准教授	山下 裕之	平成24年4月	植物生理学 生命環境基礎ゼミ 生物資源論 基礎生化学実習 ワイン製造科学実習 ブドウ栽培学実習 果実遺伝子実験 ワイン科学Ⅰ ワイン科学Ⅱ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文					
専	准教授	岸本 宗和	平成24年4月	微生物育種学 基礎生化学実習 醸造微生物実験 ワイン科学Ⅰ ワイン科学Ⅱ ワイン科学ゼミⅠ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文 ワインと宝石 ワイン製造及び体験実習					

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	三木 健夫	平成24年4月	食品保蔵学 生命環境基礎ゼミ 基礎生化学実習 食品製造学実験 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文						
専	准教授	鈴木 俊二	平成24年4月	農作物病理学 基礎生化学実習 ブドウ栽培学実習 果実遺伝子実験 ワイン科学Ⅰ ワイン科学Ⅱ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文 ワインと宝石						
専	准教授	望月 和樹	平成24年4月	食品栄養学 生物資源実習 食物科学入門 基礎生化学実習 栄養学実験 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文						
専	准教授	久本 雅嗣	平成24年4月	機能成分学 基礎生化学実習 機能成分分析実験 ワイン科学Ⅰ ワイン科学Ⅱ ワイン科学ゼミⅡ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文 ワインと宝石						
専	准教授	中田 美紀	平成24年4月	農作物生産学 生命環境基礎ゼミ 基礎生化学実習 野菜栽培実習 農作物生産学実験 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文						
専	助教	乙黒(小林)美彩	平成24年4月	醸造微生物実験 基礎生化学実習 ワイン製造科学実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文					醸造微生物実験 基礎生化学実習 ワイン製造科学実習 ワイン科学Ⅰ ワイン科学Ⅱ ワイン科学ゼミⅠ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文	教員審査判定保留のため再審査 平成24年2月教員審査済(24) 教員審査判定保留のため再審査 平成24年2月教員審査済(24) 教員審査判定保留のため再審査 平成24年2月教員審査済(24)
専	助教	山下 さやか	平成24年4月	栄養学実験 生物資源実習 基礎生化学実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文						
専	助教	斉藤 史恵	平成24年4月	機能成分分析実験 基礎生化学実習 ワイン製造科学実習 ワイン科学Ⅰ ワイン科学Ⅱ ワイン科学ゼミⅡ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 地域食物科学卒業論文						
兼任	教授	宮川 洋三	平成24年4月	共生科学入門※ 生体物質論 医工学と現代社会 現代生活とバイオテクノロジー						

専任・兼担・兼任の別	認可時の計画				変更状況				備考
	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	宇井 定春	平成24年4月	基礎生物学 生体触媒学 現代生活とバイオテクノロジー					
兼担	教授	北村 眞一	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ					
兼担	教授	新藤 純子	平成24年4月	環境科学入門 環境保全学					
兼担	教授	香川 知晶	平成24年4月	生命倫理学					
兼担	教授	楠木 正巳	平成24年4月	構造生物学 現代生活とバイオテクノロジー					
兼担	教授	坂本 康	平成24年4月	環境保全学					
兼担	教授	早川 正幸	平成24年4月	応用微生物学Ⅰ 現代生活とバイオテクノロジー					
兼担	教授	御園生 拓	平成24年4月	生物学概論 放射線と現代 ものといのち					
兼担	教授	竹内 智	平成24年4月	共生科学入門※ 基礎物理学Ⅰ					
兼担	教授	風間 ふたば	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ リスクマネジメント概論					
兼担	教授	西久保 浩二	平成24年4月	経済経営学入門 経営学総論 経営分析のためのデータ解析				経済経営学入門 経営学総論 マーケティングと消費者行動 経営分析のためのデータ解析	平成24年8月 提出予定
兼担	教授	黒澤 尋	平成24年4月	生物化学工学Ⅱ 細胞培養工学 現代生活とバイオテクノロジー					
兼担	教授	若山 照彦	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 発生工学					
兼担	教授	大野 伸一	平成26年4月	生命科学方法論					
兼担	教授	佐藤 悠	平成26年4月	生命科学方法論					
兼担	教授	有田 順	平成26年4月	環境健康科学					
兼担	教授	三井 和浩	平成26年4月	環境健康科学					
兼担	教授	山縣然太郎	平成26年4月	環境健康科学					
兼担	教授	範 江林	平成26年4月	生命科学方法論					
兼担	教授	秋山 真治	平成26年4月	生命科学方法論					
兼担	教授	北村 正敬	平成26年4月	環境健康科学					
兼担	教授	平 敬宏	平成26年4月	生命科学方法論					
兼担	教授	宮澤 恵二	平成26年4月	生命科学方法論					
兼担	教授	久保田健夫	平成26年4月	環境健康科学					
兼担	教授	中尾 篤人	平成26年4月	環境健康科学					
兼担	教授	小泉 修一	平成26年4月	生命科学方法論					
兼担	教授	森石 恒司	平成26年4月	環境健康科学					
兼担	教授	安達 登	平成26年4月	生命科学方法論					

認可時の計画				変更状況				備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月
兼任	教授	竹田 扇	平成26年4月	生命科学方法論					
兼任	教授	大塚 稔久	平成26年4月	生命科学方法論					
兼任	教授	中本 和典	平成26年4月	生命科学方法論					
兼任	准教授	高橋 智子	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ リスクマネジメント概論 科学技術政策論 放射線と現代					
兼任	准教授	伊藤 一帆	平成24年4月	基礎数学 基礎数学演習					
兼任	准教授	金 基成	平成24年4月	共生科学入門※ 現代政治のイシュー					
兼任	准教授	大槻 隆司	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 生命科学概論 現代生活とバイオテクノロジー					
兼任	准教授	松本 潔	平成24年4月	地球環境科学 ゲイア概説と地球システム科学					
兼任	准教授	門野 圭司	平成24年4月	経済経営学入門					
兼任	准教授	小林 拓	平成24年4月	地球環境科学					
兼任	准教授	新森 英之	平成24年4月	基礎化学 現代生活とバイオテクノロジー					
兼任	准教授	島崎 洋一	平成24年4月	情報処理及び演習					
兼任	准教授	野田 悟子	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 現代生活とバイオテクノロジー					
兼任	准教授	竹之内 玲子	平成24年4月	経済経営学入門 国際経営論					
兼任	准教授	岩田 智也	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ					
兼任	准教授	島 弘幸	平成24年4月	微積分学 線形代数 基礎物理学Ⅱ					
兼任	准教授	下川 敏雄	平成24年4月	基礎統計学 基礎統計学演習					
兼任	講師	喜多川 進	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 環境政策の展開					
兼任	講師	鈴木 保任	平成24年4月	化学概論					
兼任	講師	三枝 岳志	平成26年4月	生命科学方法論					
兼任	講師	西郷 達彦	平成26年4月	生命科学方法論					
兼任	助教	田中 靖浩	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ					
兼任	助教	馬籠 純	平成24年4月	情報処理及び演習					
兼任	助教	宮川 雅至	平成24年4月	基礎数学 基礎数学演習					
兼任	助教	片岡 良太	平成24年4月	環境保全学					
兼任	講師	亀井 忠文	平成25年4月	農業科教育法Ⅰ(隔年) 農業科教育法Ⅱ(隔年)					
兼任	講師	深澤 眞悟	平成25年4月	職業指導Ⅰ(隔年) 職業指導Ⅱ(隔年)					
兼任	講師	佐藤 充克	平成26年4月	特別講義Ⅲ					

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	辻 政雄	平成26年4月	特別講義Ⅳ						
兼任	講師	長谷川 達也	平成26年4月	環境毒性学						
兼任	講師	峯 洋子	平成26年4月	野菜園芸学						
兼任	講師	千野 正雄	平成27年4月	特別講義Ⅱ						
兼任	講師	大川 栄一	平成27年4月	特別講義Ⅰ						

- (注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・年齢は、「**認可時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。
  - ・専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
4	7	0	3	14	0	4	7	0	3	14	0	
(4)	(7)	(0)	(3)	(14)	(0)	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1		該当なし	
2			
3			

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 5 教員組織の状況

<生命環境学部 環境科学科>

### (1) 担当教員表

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	新藤 純子	平成24年4月	環境科学入門 環境保全学 環境マネジメント実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文						
専	教授	坂本 康	平成24年4月	環境影響評価 土壌科学 環境保全学 環境科学基礎実験Ⅱ 地圏科学実習 環境マネジメント実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文						
専	教授	御園生 拓	平成24年4月	生物学概論 環境科学基礎実験Ⅱ 環境調査実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文 放射線と現代 ものといのち						
専	教授	竹内 智	平成24年4月	基礎物理学Ⅰ 共生科学入門※ システムダイナミクス及び実習 資源循環型ものづくり実習 環境科学基礎実験Ⅰ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文						
専	教授	風間 ふたば	平成24年4月	環境分析化学Ⅱ 生命環境基礎ゼミ リスクマネジメント概論 環境計測実習 環境アセスメント実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文						
専	准教授	西田 継	平成24年4月	水圏科学 土壌科学 環境科学基礎実験Ⅱ 環境計測実習 地圏科学実習 環境アセスメント実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	松本 潔	平成24年4月	大気環境科学 地球環境科学 環境科学基礎実験Ⅱ 環境計測実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文 ガイア環境と地球システム科学						
専	准教授	石平 博	平成24年4月	水循環学 環境モデリング及び実習 環境マネジメント実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文						
専	准教授	小林 拓	平成24年4月	気象学 地球環境科学 環境科学基礎実験Ⅱ 環境計測実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文						
専	准教授	岩田 智也	平成24年4月	生態学 生命環境基礎ゼミ 多様性生物論 環境科学基礎実験Ⅱ 環境調査実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文						
専	准教授	島 弘幸	平成24年4月	微積分学 線形代数学 基礎物理学Ⅱ 環境科学基礎実験Ⅰ 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文						
専	講師	鈴木 保任	平成24年4月	環境化学 化学概論 環境分析化学Ⅰ 環境科学基礎実験Ⅰ 環境アセスメント実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文						
専	助教	田中 靖浩	平成24年4月	微生物生態学 生命環境基礎ゼミ 環境科学基礎実験Ⅱ 環境調査実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	馬籠 純	平成24年4月	環境情報学及び実習 情報処理及び演習 地図科学実習 環境マネジメント実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文						
専	助教	片岡 良太	平成24年4月	環境保全学 環境科学基礎実験Ⅰ 環境科学基礎実験Ⅱ 地図科学実習 環境アセスメント実習 環境マネジメント実習 科学英語演習Ⅰ 科学英語演習Ⅱ 科学英語演習Ⅲ 科学英語演習Ⅳ 環境科学卒業論文						
兼任	教授	宮川 洋三	平成24年4月	共生科学入門※ 医工学と現代社会 現代生活とバイオテクノロジー						
兼任	教授	宇井 定春	平成24年4月	基礎生物学 現代生活とバイオテクノロジー						
兼任	教授	北村 眞一	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ						
兼任	教授	香川 知晶	平成24年4月	生命倫理学						
兼任	教授	楠木 正巳	平成24年4月	バイオインフォマティクス 現代生活とバイオテクノロジー						
兼任	教授	谷本 守正	平成24年4月	生物資源実習 食物科学入門						
兼任	教授	西久保 浩二	平成24年4月	経済経営学入門 経営学総論 経営分析のためのデータ解析						
兼任	教授	柳田 藤寿	平成24年4月	生物資源実習 発酵工業学 ワインと宝石						
兼任	教授	村松 昇	平成24年4月	共生科学入門※ 生物資源論 生物資源実習						
兼任	教授	奥田 徹	平成24年4月	生物資源実習 ワインと宝石						
兼任	教授	若山 照彦	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ						
兼任	教授	大野 伸一	平成26年4月	生命科学方法論						
兼任	教授	佐藤 悠	平成26年4月	生命科学方法論						
兼任	教授	有田 順	平成26年4月	環境健康科学						
兼任	教授	三井 和浩	平成26年4月	環境健康科学						
兼任	教授	山縣然太郎	平成26年4月	環境健康科学						
兼任	教授	範 江林	平成26年4月	生命科学方法論						
兼任	教授	秋山 真治	平成26年4月	生命科学方法論						
兼任	教授	北村 正敬	平成26年4月	環境健康科学						
兼任	教授	平 敬浩	平成26年4月	生命科学方法論						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	宮澤 恵二	平成26年4月	生命科学方法論						
兼任	教授	久保田健夫	平成26年4月	環境健康科学						
兼任	教授	中尾 篤人	平成26年4月	環境健康科学						
兼任	教授	小泉 修一	平成26年4月	生命科学方法論						
兼任	教授	森石 恒司	平成26年4月	環境健康科学						
兼任	教授	安達 登	平成26年4月	生命科学方法論						
兼任	教授	竹田 扇	平成26年4月	生命科学方法論						
兼任	教授	大塚 稔久	平成26年4月	生命科学方法論						
兼任	教授	中本 和典	平成26年4月	生命科学方法論						
兼任	准教授	山下 裕之	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 生物資源論						
兼任	准教授	高橋 智子	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ リスクマネジメント概論 科学技術政策論 放射線と現代						
兼任	准教授	伊藤 一帆	平成24年4月	基礎数学 基礎数学演習 社会数理システム						
兼任	准教授	金 基成	平成24年4月	共生科学入門※ 環境政治論 現代政治のイシュー						
兼任	准教授	大槻 隆司	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 生命科学概論 現代生活とバイオテクノロジー						
兼任	准教授	三木 健夫	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ						
兼任	准教授	門野 圭司	平成24年4月	経済経営学入門						
兼任	准教授	新森 英之	平成24年4月	基礎化学 現代生活とバイオテクノロジー						
兼任	准教授	島崎 洋一	平成24年4月	情報処理及び演習 エネルギーマネジメント						
兼任	准教授	野田 悟子	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 遺伝子工学 現代生活とバイオテクノロジー						
兼任	准教授	望月 和樹	平成24年4月	生物資源実習 食物科学入門						
兼任	准教授	竹之内 玲子	平成24年4月	経済経営学入門						
兼任	准教授	中田 美紀	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ						
兼任	准教授	下川 敏雄	平成24年4月	基礎統計学 基礎統計学演習 データサイエンス及び演習						
兼任	講師	喜多川 進	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 環境経済政策論 環境政策の展開						
兼任	講師	三枝 岳志	平成26年4月	生命科学方法論						
兼任	講師	西郷 達彦	平成26年4月	生命科学方法論						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	助教	宮川 雅至	平成24年4月	基礎数学 基礎数学演習						
兼任	助教	山下 さやか	平成24年4月	生物資源実習						
兼任	講師	田中 次郎	平成26年4月	特別講義Ⅲ						
兼任	講師	安原 正也	平成26年4月	特別講義Ⅱ						
兼任	講師	平沢 尚彦	平成26年4月	特別講義Ⅰ						
兼任	講師	長谷川 達也	平成26年4月	環境毒性学						
兼任	講師	黒住 悟	平成26年4月	特別講義Ⅲ						
兼任	講師	伊藤 喜宏	平成26年4月	特別講義Ⅳ						
兼任	講師	安田 泰輔	平成26年4月	植物生態学						
兼任	講師	横山 丈太郎	平成26年4月	環境法						

- (注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 また、「専任教員採用等変更書(A/C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。
  - ・専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	6	1	3	15	0	5	6	1	3	15	0	
(5)	(6)	(1)	(3)	(15)	(0)	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1		該当なし	
2			
3			

(注)・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5 教員組織の状況

<生命環境学部 地域社会システム学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	北村 真一	平成24年4月	地域経営論 生命環境基礎ゼミ 社会調査法 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学実習Ⅰ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文					地域経営論 生命環境基礎ゼミ 社会調査法 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学実習Ⅰ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文	学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定
専	教授	西久保 浩二	平成24年4月	人的資源管理論 経済経営学入門 経営学総論 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学実習Ⅰ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文 経営分析のためのデータ解析					人的資源管理論 経済経営学入門 経営学総論 マーケティングと消費者行動 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学実習Ⅰ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文 経営分析のためのデータ解析	学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定
専	教授	渡邊 靖仁	平成24年4月	ミクロ経済学 公共経済学 計量経済学 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学実習Ⅱ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文					ミクロ経済学 公共経済学 計量経済学 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学実習Ⅱ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文	学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定
専	教授	大山 勲	平成24年4月	地域計画学 地域共生デザイン 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文					地域計画学 地域共生デザイン 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文	学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定
専	教授	渡邊 幹彦	平成24年4月	経済学概論 マクロ経済学 食料問題とグローバル経済 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学実習Ⅰ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文					経済学概論 マクロ経済学 食料問題とグローバル経済 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学実習Ⅰ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文	学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	大山 盛義	平成24年4月	労働法 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学実習Ⅰ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文					労働法 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学実習Ⅰ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文	学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定
専	准教授	高橋 智子	平成24年4月	科学技術政策論 生命環境基礎ゼミ リスクマネジメント概論 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文 放射線と現代					科学技術政策論 生命環境基礎ゼミ リスクマネジメント概論 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文 放射線と現代	学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定
専	准教授	伊藤 一帆	平成24年4月	社会数理システム 基礎数学 基礎数学演習 経済・経営数学 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学実習Ⅱ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文					社会数理システム 基礎数学 基礎数学演習 経済・経営数学 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学実習Ⅱ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文	学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定
専	准教授	金 基成	平成24年4月	政治学原論 共生科学入門※ 環境政治論 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文 現代政治の 이슈ー					政治学原論 共生科学入門※ 環境政治論 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文 現代政治の 이슈ー	学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定
専	准教授	坪内 淳	平成24年4月	国際関係論Ⅰ 国際関係論Ⅱ 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文 世界近現代史の潮流と日本					国際関係論Ⅰ 国際関係論Ⅱ 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文 世界近現代史の潮流と日本	学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定
専	准教授	門野 圭司	平成24年4月	地方財政学 経済経営学入門 財政学 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学実習Ⅱ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文					地方財政学 経済経営学入門 財政学 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学実習Ⅱ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文	学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	准教授	島崎 洋一	平成24年4月	エネルギーマネジメント 情報処理及び演習 数理計画法 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文					エネルギーマネジメント 情報処理及び演習 数理計画法 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文	学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定
専	准教授	藤原 真史	平成24年4月	行政学 地方自治論 政策過程論 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学実習Ⅰ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文 現代日本の政治と政策					行政学 地方自治論 政策過程論 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学実習Ⅰ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文 現代日本の政治と政策	学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定
専	准教授	竹之内 玲子	平成24年4月	経営戦略論 経済経営学入門 国際経営論 サービス産業論 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学実習Ⅰ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文					経営戦略論 経済経営学入門 国際経営論 サービス産業論 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学実習Ⅰ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文	学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定
専	准教授	石塚 迅	平成24年4月	法学概論 統治機構論 比較憲法論 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文 日本国憲法					法学概論 統治機構論 比較憲法論 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文 日本国憲法	学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定
専	准教授	下川 敏雄	平成24年4月	基礎統計学 基礎統計学演習 データサイエンス及び演習 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文					基礎統計学 基礎統計学演習 データサイエンス及び演習 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文	学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定
専	講師	喜多川 進	平成24年4月	環境経済政策論 生命環境基礎ゼミ 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文 環境政策の展開					環境経済政策論 生命環境基礎ゼミ 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文 環境政策の展開	学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定

認可時の計画				変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		担当授業科目名
専	助教	宮川 雅至	平成24年4月	経済地理学 基礎数学 基礎数学演習 社会経営学セミナーⅠ 社会経営学セミナーⅡ 社会経営学演習 社会経営学卒業論文					経済地理学 基礎数学 基礎数学演習 地域社会システム学セミナーⅠ 地域社会システム学セミナーⅡ 地域社会システム学演習 地域社会システム学卒業論文	学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定 学科名の変更に伴い、科目名を変更 平成24年8月提出予定
兼任	教授	宮川 洋三	平成24年4月	共生科学入門※ 生体物質論 医工学と現代社会 現代生活とバイオテクノロジー						
兼任	教授	新藤 純子	平成24年4月	環境科学入門 環境保全学						
兼任	教授	香川 知晶	平成24年4月	生命倫理学						
兼任	教授	楠木 正巳	平成24年4月	構造生物学 バイオフィーマティクス 現代生活とバイオテクノロジー						
兼任	教授	坂本 康	平成24年4月	環境影響評価 環境保全学						
兼任	教授	谷本 守正	平成24年4月	生物資源実習 食物科学入門 食品製造学						
兼任	教授	竹内 智	平成24年4月	共生科学入門※						
兼任	教授	風間 ふたば	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ リスクマネジメント概論						
兼任	教授	柳田 藤寿	平成24年4月	生物資源実習 ワインと宝石						
兼任	教授	村松 昇	平成24年4月	共生科学入門※ 生物資源論 生物資源実習 農作物栽培学						
兼任	教授	奥田 徹	平成24年4月	生物資源実習 ワインと宝石						
兼任	教授	若山 照彦	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ						
兼任	准教授	山下 裕之	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 生物資源論						
兼任	准教授	大槻 隆司	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 生命科学概論 現代生活とバイオテクノロジー						
兼任	准教授	三木 健夫	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ						
兼任	准教授	松本 潔	平成24年4月	地球環境科学 ガイア仮説と地球システム科学						
兼任	准教授	小林 拓	平成24年4月	地球環境科学						
兼任	准教授	野田 悟子	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ 現代生活とバイオテクノロジー						
兼任	准教授	望月 和樹	平成24年4月	生物資源実習 食物科学入門						
兼任	准教授	中田 美紀	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ						
兼任	准教授	岩田 智也	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ						
兼任	助教	田中 靖浩	平成24年4月	生命環境基礎ゼミ						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	助教	馬籠 純	平成24年4月	情報処理及び演習						
兼任	助教	片岡 良太	平成24年4月	環境保全学						
兼任	助教	山下 さやか	平成24年4月	生物資源実習						
兼任	講師	立川 真美	平成25年4月	職業指導 商業科教育法Ⅰ(隔年) 商業科教育法Ⅱ(隔年)						
兼任	講師	上條 醇	平成25年4月	民法各論						
兼任	講師	小倉 公一	平成26年4月	簿記学 会計学						
兼任	講師	横山 丈太郎	平成26年4月	行政法 環境法						

(注)・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇学部 △学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「**認可時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。
- ・ 専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

## (2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
6	10	1	1	18	0	6	10	1	1	18	0	
(6)	(10)	(1)	(1)	(18)	(0)	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

(注)・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1		該当なし	
2			
3			

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 5 教員組織の状況

### <全学共通>

#### (1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
<全学共通教育科目担当>										
兼担	教授	清弘 智昭	平成24年4月	電気とコンピュータ						
兼担	教授	齋藤 康彦	平成24年4月	経済学の目で見ると						
兼担	教授	新田 静江	平成24年4月	社会における看護と介護※						
兼担	教授	水口 義久	平成24年4月	これからの機械技術						
兼担	教授	勢田 二郎	平成24年4月	投資と資産形成※ 染色の科学						
兼担	教授	手塚 実	平成24年4月	アンサンブルの楽しみ					吹奏楽の楽しみ	カリキュラムの整備により科目を変更(24)
兼担	教授	原田 博	平成24年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語BⅠ 英語BⅡ 総合英語						
兼担	教授	福永 茂	平成24年4月	生活と健康Ⅰ 生活と健康Ⅱ 健康科学						
兼担	教授	本田 建	平成24年4月	人間と機械						
兼担	教授	成瀬 哲生	平成24年4月	キャリア形成のための作文演習						
兼担	教授	三重野 卓	平成24年4月	社会変動と人間	兼担	教授	三重野 卓	平成24年4月	社会変動と人間	平成24年3月退職(24)
兼担	教授	須貝 千里	平成24年4月	小説における(他者)の問題						
兼担	教授	鳥養 映子	平成24年4月	理系女性のキャリア形成※ 科学・デザイン・コミュニケーション※						
兼担	教授	藤本 俊	平成24年4月	放射線と現代 生活と健康Ⅰ 生活と健康Ⅱ スポーツマッサージ入門						
兼担	教授	岡林 春雄	平成24年4月	メディアと人間						
兼担	教授	香川 知晶	平成24年4月	生命倫理 社会の中の医療・医学						
兼担	教授	川村 協平	平成24年4月	生活と健康Ⅰ アウトドアバスーツⅠ アウトドアバスーツⅡ						
兼担	教授	酒匂 淳	平成24年4月	ピアノを弾こう						
兼担	教授	園家 啓嗣	平成24年4月	これからの機械技術						
兼担	教授	中川 清和	平成24年4月	ワインと宝石 クリスタルサイエンス						
兼担	教授	萩原 親作	平成24年4月	人間と機械						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	平田 徹	平成24年4月	ヒトに至る生命の歴史						
兼任	教授	松本 雅彦	平成24年4月	医療の最先端※						
兼任	教授	森田 秀二	平成24年4月	フランス語初級Ⅰ フランス語初級Ⅱ フランス語演習Ⅰ フランス語演習Ⅱ 映像を通じて見る異文化					フランス語初級Ⅰ フランス語初級Ⅱ フランス語演習Ⅰ フランス語演習Ⅱ 映像を通じて見る異文化 フランス語Intensive90-Ⅰ フランス語Intensive90-Ⅱ	カリキュラムの整備により科目を追加(24) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
兼任	教授	佐藤 一郎	平成24年4月	哲学のさまざまな問題						
兼任	教授	藤間 一美	平成24年4月	家庭の中のエレクトロニクス						
兼任	教授	宮澤 正明	平成24年4月	国語表現						
兼任	教授	上里 正男	平成24年4月	科学技術史入門						
兼任	教授	鳥海 順子	平成24年4月	特別支援教育総論						
兼任	教授	池田 尚隆	平成24年4月	源氏物語を読む						
兼任	教授	加藤 繁美	平成24年4月	映像で考える子どもと教育						
兼任	教授	菅沼 研一	平成24年4月	感性による造形						
兼任	教授	中丸 宣明	平成24年4月	日本文学作品論Ⅱ	兼任	教授	中丸—宣明	平成24年4月	日本文学作品論Ⅱ	平成24年3月退職(24)
兼任	教授	堀 裕和	平成24年4月	ものといのち						
兼任	教授	奥村 圭子	平成24年4月	異文化間コミュニケーション 映像を通じて見る異文化						
兼任	教授	鈴木 猛康	平成24年4月	自然災害と都市防災						
兼任	教授	藤原 嘉文	平成24年4月	音楽の即興表現						
兼任	教授	松森 靖夫	平成24年4月	子どもと自然						
兼任	教授	村松 俊夫	平成24年4月	かたちの不思議と幾何学的デザイン						
兼任	教授	小畑 文也	平成24年4月	依存の科学						
兼任	教授	Groemer Gerald	平成24年4月	東洋音楽鑑賞						
兼任	教授	佐藤 博	平成24年4月	材料と技術						
兼任	教授	田中 功	平成24年4月	ワインと宝石 クリスタルサイエンス						
兼任	教授	熊田 伸弘	平成24年4月	ワインと宝石 クリスタルサイエンス						
兼任	教授	古家 貴雄	平成24年4月	英語AⅠ 英語BⅢ 総合英語						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	宮崎 淳一	平成24年4月	生命科学と社会						
兼任	教授	北村 正敬	平成24年4月	人体の生命科学※						
兼任	教授	武田 哲明	平成24年4月	これからの機械技術 放射線と現代						
兼任	教授	中村 和彦	平成24年4月	生活と健康Ⅰ 生活と健康Ⅱ 死生学入門						
兼任	教授	栗田 真司	平成24年4月	子どもと文化					子どもと文化 思考の整理術	カリキュラムの整備により科目を追加(24)
兼任	教授	大西 良博	平成24年4月	魔方陣から現代数学へ					エントロピーと環境問題	カリキュラムの整備により科目を変更(24)
兼任	教授	田中 勝	平成24年4月	住まいの地方性						
兼任	教授	日永 龍彦	平成24年4月	現代社会と教育 山梨大学から見る大学の歴史と現在						
兼任	教授	矢野 浩司	平成24年4月	家庭の中のエレクトロニクス						
					兼任	教授	入山 裕	平成24年4月	高分子材料化学	カリキュラムの整備により科目を追加(24)
兼任	特任教授	渡辺 研次	平成24年4月	人間形成論※ 職業選択支援プログラム※ キャリア形成論					人間形成論※ エンプロイアビリティ論 キャリア形成論	カリキュラムの整備により科目名称を変更(24)
兼任	准教授	細谷 正一	平成24年4月	ワインと宝石 クリスタルサイエンス						
兼任	准教授	滝口 晴生	平成24年4月	英語AⅡ 英語BⅠ 総合英語 英語リーディング・ライティング(基礎) e-ラーニングⅣ 映像を通じて見る異文化						
兼任	准教授	秋山 高二	平成24年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語BⅠ 総合英語 英語リーディング・ライティング						
兼任	准教授	宮永 義夫	平成24年4月	ドイツ語初級Ⅰ ドイツ語初級Ⅱ ドイツ語演習Ⅰ ドイツ語演習Ⅱ ドイツ語Intensive90-Ⅰ ドイツ語Intensive90-Ⅱ						
兼任	准教授	石垣 武久	平成24年4月	地球の見方						
兼任	准教授	加藤 伊陽子	平成24年4月	ウイルスと人間B					ウイルスと人間	カリキュラムの整備により科目名称を変更(24)
兼任	准教授	阿部 茂	平成24年4月	教育史を通して見る日本の近代現代						
兼任	准教授	木村 はるみ	平成24年4月	生活と健康Ⅰ 生活と健康Ⅱ ダンス・セラピー						
兼任	准教授	成田 雅博	平成24年4月	数理の発想でみる自然・社会・人間						
兼任	准教授	後藤 聡	平成24年4月	自然災害と都市防災						
兼任	准教授	中村 宗敬	平成24年4月	確率の見方						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	町田 茂	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ 中国語中級Ⅰ(総合) 中国語中級Ⅱ(総合) 中国語Intensive60-Ⅰ 中国語Intensive60-Ⅱ						
兼任	准教授	大隅 清陽	平成24年4月	日本古代の政治と文化		教授		平成24年4月		准教授から教授に昇任(24)
兼任	准教授	加藤 朋之	平成24年4月	生活と健康Ⅰ スポーツ映画に見る現代社会						
兼任	准教授	志村 結美	平成24年4月	生活設計論						
兼任	准教授	宮村 季浩	平成24年4月	健康社会学						
兼任	准教授	山中 淳二	平成24年4月	ワインと宝石 クリスタルサイエンス						
兼任	准教授	北村 敏也	平成24年4月	人間と機械						
兼任	准教授	服部 一秀	平成24年4月	キャリア形成のための作文演習		教授		平成24年4月		准教授から教授に昇任(24)
兼任	准教授	平 晋一郎	平成24年4月	人間と機械						
兼任	准教授	山下 和之	平成24年4月	一般相対性理論への招待						
兼任	准教授	井坂 健一郎	平成24年4月	山梨学※						
兼任	准教授	高橋 正和	平成24年4月	人間とコンピュータ						
兼任	准教授	鈴木 智博	平成24年4月	人間とコンピュータ						
兼任	准教授	平野 千枝子	平成24年4月	写真の歴史						
兼任	准教授	奥村 直史	平成24年4月	英語AⅠ 英語BⅡ 総合英語 英語リーディング・ライティング 英語オーラルコミュニケーション						
兼任	准教授	片野 耕喜	平成24年4月	ミュージカルを歌おう						
兼任	准教授	長島 礼人	平成24年4月	物理バズルで楽しむ身近な自然現象						
兼任	准教授	皆川 卓	平成24年4月	ヨーロッパ中世の諸相						
兼任	准教授	小山 勝弘	平成24年4月	生活と健康Ⅰ スポーツとダイエットの科学						
兼任	准教授	松岡 幹就	平成24年4月	英語AⅠ 英語BⅡ 総合英語 e-ラーニングⅡ						
兼任	准教授	綿打 敏司	平成24年4月	ワインと宝石 クリスタルサイエンス						
兼任	准教授	澤田 知香子	平成24年4月	英語AⅠ 英語AⅢ 英語BⅠ 総合英語 英語リーディング・ライティング(上級)						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	芹澤 如比古	平成24年4月	水圏植物の生物学						
兼任	准教授	田中 武夫	平成24年4月	英語AⅢ 英語BⅢ 総合英語 e-ラーニングⅠ 映像を通じて見る異文化						
兼任	准教授	坪内 淳	平成24年4月	世界近現代史の潮流と日本						
兼任	准教授	秋山 麻実	平成24年4月	子どもとジェンダー 映像を通じて見る異文化						
兼任	准教授	小川 和也	平成24年4月	これからの機械技術						
兼任	准教授	木島 章文	平成24年4月	生活と健康Ⅰ 生活と健康Ⅱ					生活と健康Ⅰ 頭と身体の運動学	カリキュラムの整備により担当科目を変更(24)
兼任	准教授	渡邊 雅俊	平成24年4月	こころと体の障害の理解と支援						
兼任	准教授	小島 千か	平成24年4月	音楽の分析と表現						
兼任	准教授	齊藤 成彦	平成24年4月	自然災害と都市防災						
兼任	准教授	高橋 英児	平成24年4月	教育問題から見た現代社会						
兼任	准教授	野原 慎士	平成24年4月	【理】地球環境化学とエネルギー						
兼任	准教授	酒井 厚	平成24年4月	パーソナリティ心理学						
兼任	准教授	武井 貴弘	平成24年4月	ワインと宝石 クリスタルサイエンス						
兼任	准教授	新野 貴則	平成24年4月	文化記号論					芸術における言語と身体の思想	カリキュラムの整備により科目を変更(24)
兼任	准教授	小池 健二	平成24年4月	数学的見方						
兼任	准教授	鍋島 英知	平成24年4月	人間とコンピュータ						
兼任	准教授	藤原 真史	平成24年4月	現代日本の政治と政策						
兼任	准教授	有元 圭介	平成24年4月	ワインと宝石 クリスタルサイエンス						
兼任	准教授	小俣 昌樹	平成24年4月	人間とコンピュータ						
兼任	准教授	吉田 純司	平成24年4月	自然災害と都市防災						
兼任	准教授	清野 辰彦	平成24年4月	子どもと事象の数理						
兼任	准教授	田甫 綾野	平成24年4月	保育・子育ての現在						
					兼任	准教授	尾見 康博	平成24年4月	社会と文化の心理学	カリキュラムの整備により科目を追加(24)
					兼任	准教授	大内 邦靖	平成24年4月	英語・英語学—言語行動の特性と実践的観照法	カリキュラムの整備により科目を追加(24)
					兼任	准教授	長谷川 千秋	平成24年4月	日本語表現の現在	カリキュラムの整備により科目を追加(24)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	准教授	渡邊 暁	平成24年4月	スペイン語初級Ⅰ スペイン語初級Ⅱ スペイン語演習Ⅰ スペイン語演習Ⅱ 光る分子の科学	カリキュラムの整備により科目を追加(24) カリキュラムの整備により科目を追加(24) カリキュラムの整備により科目を追加(24) カリキュラムの整備により科目を追加(24) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
					兼任	准教授	佃 俊明	平成24年4月		カリキュラムの整備により科目を追加(24)
					兼任	准教授	吉澤 裕子	平成24年4月	暮らしの中の美と形	カリキュラムの整備により科目を追加(24)
兼任	特任准教授	Allen Gerard	平成24年4月	英語BⅢ TOEFLⅡ 総合英語 英語リーディング・ライティング 英語オーラルコミュニケーション 英語オーラルコミュニケーション(上級) Intensive15-Ⅰ(英語) Intensive15-Ⅱ(英語) Intensive90-Ⅰ(英語)						
兼任	特任准教授	Klousia Paul Hegland	平成24年4月	TOEFLⅠ 英語リーディング・ライティング 英語オーラルコミュニケーション 英語オーラルコミュニケーション(上級) e-ラーニングⅢ Intensive15-Ⅰ(英語) Intensive15-Ⅱ(英語) Intensive90-Ⅱ(英語)						
兼任	講師	伊藤 美佳	平成24年4月	こころの健康づくり						
兼任	講師	塚越 奈美	平成24年4月	人間理解の心理学						
兼任	助教	坂野 齋	平成24年4月	家庭の中のエレクトロニクス						
兼任	助教	米崎 功記	平成24年4月	クリスタルサイエンス						
兼任	助教	長尾 雅則	平成24年4月	クリスタルサイエンス						
兼任	助教	伊藤 亜希子	平成24年4月	現代社会と教育						
兼任	助教	三浦 章	平成24年4月	クリスタルサイエンス						
兼任	講師	今村 義男	平成24年4月	企業概論 経営管理(マネジメント)						
兼任	講師	斎藤 實久	平成24年4月	心理学への誘い						
兼任	講師	内田 建也	平成24年4月	生活と健康Ⅰ 生活と健康Ⅱ						
兼任	講師	八木 博	平成24年4月	ドイツ語中級Ⅰ(総合) ドイツ語中級Ⅱ(総合)						
兼任	講師	井上正篤	平成24年4月	ドイツ語初級Ⅰ ドイツ語初級Ⅱ ドイツ語中級Ⅰ(総合) ドイツ語中級Ⅱ(総合)						
兼任	講師	永田 徹	平成24年4月	キャリア形成のための作文演習						
兼任	講師	川田 秀文	平成24年4月	アジアの人々						
兼任	講師	萩原 三雄	平成24年4月	考古学について						
兼任	講師	赤池 王	平成24年4月	ドイツ語初級Ⅰ ドイツ語初級Ⅱ						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	赤井 住郎	平成24年4月	生物学の様子						
兼任	講師	野呂瀬 秀	平成24年4月	生活と健康 I 生活と健康 II						
兼任	講師	橋本 不二男	平成24年4月	ドイツ語初級 I ドイツ語初級 II ドイツ語中級 I (総合) ドイツ語中級 II (総合)						
兼任	講師	工藤 眞一	平成24年4月	ドイツ語初級 I ドイツ語初級 II ドイツ語中級 I (総合) ドイツ語中級 II (総合)						
兼任	講師	山内 幸雄	平成24年4月	日本国憲法						
兼任	講師	王 若江	平成24年4月	中国語Intensive60-I 中国語Intensive60-II						
兼任	講師	古澤 栄一	平成24年4月	球技スポーツの魅力 生活と健康 I						
兼任	講師	野呂瀬 稲子	平成24年4月	英語 A II 英語 B I 英語 B II 英語リーディング・ライティング 英語オーラルコミュニケーション						
兼任	講師	大和田 浩二	平成24年4月	ボランティア理論						
兼任	講師	橋本 純一	平成24年4月	スポーツ考現学への誘い 生活と健康 I						
兼任	講師	相澤 俊行	平成24年4月	英語 A II 英語 B II 総合英語 英語オーラルコミュニケーション						
兼任	講師	山下 陽一郎	平成24年4月	健康なからだ論 生活と健康 I 生活と健康 II						
兼任	講師	長坂 香織	平成24年4月	英語 A I 英語 B II						
兼任	講師	Werthmann Hans Joachim	平成24年4月	ドイツ語中級 I (総合) ドイツ語中級 II (総合) ドイツ語Intensive90-I ドイツ語Intensive90-II					ドイツ語中級 I (総合) ドイツ語中級 II (総合) ドイツ語Intensive90-I ドイツ語Intensive90-II ドイツ語中級 I (コミュニケーション) ドイツ語中級 II (コミュニケーション)	カリキュラムの整備により担当科目の追加 (24) カリキュラムの整備により担当科目の追加 (24)
兼任	講師	古屋 顕一	平成24年4月	余暇社会の身体活動 生活と健康 II						
兼任	講師	蔣 秋菊	平成24年4月	中国語初級 I 中国語初級 II 中国語中級 I (コミュニケーション) 中国語中級 II (コミュニケーション)						
兼任	講師	川邊 良平	平成24年4月	天文学への誘い						
兼任	講師	沢木 綾子	平成24年4月	生活と健康 I 生活と健康 II 運動と遊び						
兼任	講師	麻場 一徳	平成24年4月	生活と健康 I 生活と健康 II						
兼任	講師	野口 健	平成24年4月	ドイツ語演習 I ドイツ語演習 II						
兼任	講師	小澤 理恵子	平成24年4月	心理学への誘い						
兼任	講師	望月 海慧	平成24年4月	ドイツ語初級 I ドイツ語初級 II						

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	岩井 昌康	平成24年4月	ドイツ語初級Ⅰ ドイツ語初級Ⅱ						
兼任	講師	三井 聖子	平成24年4月	生活と健康Ⅰ 生活と健康Ⅱ						
兼任	講師	Jill Emma Strothman	平成24年4月	英語AⅢ 英語BⅠ Intensive15-Ⅰ(英語) Intensive15-Ⅱ(英語) Intensive90-Ⅰ(英語) Intensive90-Ⅱ(英語) 英語リーディング・ライティング 英語リーディング・ライティング(上級) 英語オーラルコミュニケーション						
兼任	講師	加藤 宏	平成24年4月	英語AⅠ 英語BⅡ 総合英語 英語リーディング・ライティング 英語リーディング・ライティング(上級) 英語オーラルコミュニケーション						
兼任	講師	Sutton Shane Christopher	平成24年4月	英語AⅢ 英語BⅠ 英語オーラルコミュニケーション 英語オーラルコミュニケーション(上級)						
兼任	講師	水津 有理	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ 中国語演習Ⅰ 中国語演習Ⅱ						
兼任	講師	後藤 奈智子	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ						
兼任	講師	林 吟貞	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ						
兼任	講師	藤田 理佳	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ						
兼任	講師	島崎 朋子	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ						
兼任	講師	伊藤 千草	平成24年4月	英語AⅠ 英語BⅠ 英語リーディング・ライティング						
兼任	講師	吉原 太郎	平成24年4月	電子音楽の世界						
兼任	講師	後藤 英明	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ						
兼任	講師	仲本 直美	平成24年4月	英語リーディング・ライティング(上級) 英語オーラルコミュニケーション						
兼任	講師	今井 理恵	平成24年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語BⅠ 英語BⅡ 総合英語 英語リーディング・ライティング 英語リーディング・ライティング(上級) 英語オーラルコミュニケーション						
兼任	講師	齋藤 正雄	平成24年4月	天文学への誘い						
兼任	講師	平田 眞一郎	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ 中国語中級Ⅰ(総合) 中国語中級Ⅱ(総合)						
兼任	講師	大辻 富実佳	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ 中国語演習Ⅰ 中国語演習Ⅱ 中国語中級Ⅰ(総合) 中国語中級Ⅱ(総合)						
兼任	講師	伊王野 大介	平成24年4月	天文学への誘い						

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	Maloney Joshua Alexander	平成24年4月	英語オーラルコミュニケーション						
兼任	講師	付 立力	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ <small>中国語中級Ⅰ(コミュニケーション) 中国語中級Ⅱ(コミュニケーション)</small>						
兼任	講師	荒木 達雄	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ						
兼任	講師	前田 真砂美	平成24年4月	中国語初級Ⅰ 中国語初級Ⅱ						
兼任	講師	西川 小百合	平成24年4月	生活と健康Ⅰ						
兼任	講師	山北 満哉	平成24年4月	生活と健康Ⅰ 生活と健康Ⅱ						
兼任	講師	Brown Jonathan David	平成24年4月	英語AⅡ 英語BⅠ 総合英語 <small>英語リーディング・ライティング 英語オーラルコミュニケーション Intensive15-I(英語) Intensive15-II(英語)</small>						
					兼任	講師	井上 範夫	平成24年4月	フランス語中級Ⅰ(総合) フランス語中級Ⅱ(総合)	カリキュラムの整備により科目を追加(24) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
					兼任	講師	Martin Anne-lise	平成24年4月	フランス語中級Ⅰ(総合) フランス語中級Ⅱ(総合) フランス語Intensive90-I フランス語Intensive90-II	カリキュラムの整備により科目を追加(24) カリキュラムの整備により科目を追加(24) カリキュラムの整備により科目を追加(24) カリキュラムの整備により科目を追加(24)

(注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。
- ・専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時  (23年10月)	【地域食物科学科】 専任教員の配置を必要とされた3授業科目については、科目開設時まで確実に専任教員を配置すること。	平成24年1月教員資格審査において担当「可」判定 「ワイン科学Ⅰ」(可) 「ワイン科学Ⅱ」(可) 「ワイン科学ゼミⅠ」(可) (24)	
	【社会経営学科】 1. 法律・政治・経営・経済を包含する学科名称としては、「社会経営学」という名称は整合的でないため、カリキュラムや学位名称に即した学科名称を再度検討すること。	学科名を「地域社会システム学科」に変更(平成23年10月届出)(24)	
	【社会経営学科】 2. 科目について、伝統的な法学部の科目編成ではなく、学科の目的に即した、企業経営や地方行政に関連する科目名称及び内容になるよう検討すること。		3授業科目の科目名称を変更する。 平成24年8月教員資格審査を提出予定 (24)
	【社会経営学科】 3. 教員の補充を必要とされた3科目については、科目開設時まで教員の配置を行うこと。うち、専任教員の配置を必要とされた2授業科目については、確実に専任教員を配置すること。		2授業科目の専任教員を新たに採用する。 平成24年8月教員資格審査を提出予定 (24)
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <生命環境学部>

#### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>〔全学組織〕全学教育FD委員会、全学FD研修プロジェクト委員会、Eラーニング・プロジェクト委員会          〔生命環境学部〕FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>〔全学組織〕全学教育FD委員会、1回、参加教員13名(平成23年度)          全学FD研修プロジェクト委員会、4回、参加教員各回7名(平成23年度)          Eラーニング・プロジェクト委員会、1回、参加教員11名(平成23年度)          〔生命環境学部〕FD委員会、1回、参加教員7名(平成24年度)</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>〔全学組織〕          全学教育FD委員会：FD活動の企画案について          全学FD研修プロジェクト委員会：FD研修会の企画、FD Caféの開催について          Eラーニング・プロジェクト委員会：e-ラーニング講習、Moodle活用について</p> <p>〔生命環境学部〕          FD委員会：平成24年度FD委員会・研修会実施計画等について</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>〔全学組織〕          ・全学FD研修会          ・FD Café          ・Moodle講習会          ・授業評価アンケート</p> <p>〔生命環境学部〕          ・FD研修会(新任教員のための研修会、生命環境学部FD研修会、各学科FD研修会)</p> <p>b 実施方法</p> <p>〔全学組織〕          ・全学FD研修会(2月に1回開催)          ・FD Café(年5回開催)          ・Moodle講習会(年3回開催)          ・授業評価アンケート(前後期各1回実施)</p> <p>〔生命環境学部〕          ・新任教員のための研修会(4月実施)          ・生命環境学部FD研修会(7月実施予定)          ・学科FD研修会(各学科年2回程度実施予定)</p>
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

〔全学組織〕

- ・全学FD研修会（平成24年2月29日開催、90名の教員が参加）
- ・FD Café（平成23年6月30日、8月4日、9月20日、10月18日、11月22日の5回実施、60名の教員が参加）
- ・Moodle講習会（平成23年12月15日、平成24年1月17日、2月7日の3回開催、24名の教職員が参加）
- ・授業評価アンケート（学生に対して前後期各1回、授業評価アンケートの実施）

〔生命環境学部〕

- ・FD研修会（平成24年1月20、21日、生命環境学部予定専任教員に対し実施、69名の教職員が参加）
- ・FD研修会（平成24年3月13日、1月20、21日未受講の専任教員に対し実施、9名の教職員が参加）
- ・新任教員のための研修会（平成24年4月2日、4月1日着任教員に対し実施、37名の教職員が参加）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学FD研修会での事例に基づくディスカッション及びFD Caféでのあらゆるテーマに基づいたディスカッション等を行うことにより、各教員は授業改善に反映している。また、授業評価アンケートの結果を教員にフィードバックすることにより、成果を確認、本学部の教育目標に合致したより効果的なFDを検討する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前後期各1回実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員には紙媒体で個人の授業評価結果を通知するが、学生に対しては公開していない。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

（別紙のとおり）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成28年5月末 公表予定

（自己点検・評価は、平成27年度内に終了予定とし、その結果を公表する）

b 公表方法

・生命環境学部ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成26年度に評価機関（未定）の機関別認証評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

（ 有 ・ 無 ）

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

（ 平成24年9月1日公表予定 ）

## ○ 山梨大学全学教育FD委員会規程

制定 平成21年10月21日

改正 平成22年 7月 1日

(趣旨)

第1条 山梨大学に、教育の向上及び能力開発に関する恒常的な検討を行い、その質的充実を図ることを目的として山梨大学全学教育FD（ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。））委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 大学、大学院教育の組織的改善に関する事項
- (2) 教員の教育活動に係る専門能力向上のための企画及びその実施・評価に関する事項
- (3) 学生による授業評価に関する事項
- (4) 学部、研究科等が実施するFD活動の支援に関する事項
- (5) その他FD活動に関し必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 理事（教学担当）
  - (2) 各学部のFDに関係する委員会の委員長及び副委員長
  - (3) 大学教育研究開発センター教育活動企画・評価部門長
  - (4) 大学教育研究開発センター教育力向上開発部門長
  - (5) 大学教育研究開発センター専任教員 1人
  - (6) 留学生センター教員 1人
  - (7) キャリアセンター教員 1人
  - (8) 教学支援部長
  - (9) その他委員会が必要と認めた者
- 2 前項第4号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、理事（教学担当）が指名する。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した副委員長がその職務を代行する。

(会議)

第5条 委員会は、過半数の委員が出席しなければ、開催することができない。

- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員会が必要と認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見を聴くこと

ができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教学支援部教務課において処理する。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規程は、平成21年10月21日から施行し、平成21年10月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成22年7月1日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

## ○ 山梨大学大学院医学工学総合研究部生命環境系学域各種委員会規程

制定 平成24年3月30日

(趣旨)

第1条 この規程は、山梨大学大学院医学工学総合研究部教授会規程第9条第2項の規定に基づき、生命環境系学域各種委員会（以下「委員会」という。）に関し必要な事項を定める。

(委員会)

第2条 生命環境系学域に、別表に掲げる委員会を置く。

2 委員会の運営に関する必要事項は、別表に定めるとおりとする。

3 各委員会の委員は、再任を妨げない。ただし、委員に欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

4 必要に応じ、別表以外の委員会を置くことができる。

(委員長)

第3条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

2 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(会議)

第4条 委員会は、構成員の過半数の出席がなければ、議事を開き、議決することができない。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員長が、必要と認めたときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、総務部生命環境学部支援課において処理する。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、各委員会が別に定める。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

## 別表

委員会の名称	主な審議事項	組織	任期	委員長
入試委員会	・入学試験に関する事項	各学科 教授 1 名 准教授又は講師 1 名	2 年	委員の互選(教授)
教学委員会	・学生の教育に関する事項 ・学生の厚生及び補導に関する事項	各学科 教授 1 名 准教授又は講師 1 名	2 年	評議員
広報委員会	・広報に関する事項(入試広報を含む) ・ホームページの運営に関する事項	各学科 教授 1 名 准教授又は講師 1 名	2 年	評議員
自己点検・評価委員会	・自己点検・評価に関する事項	各学科 教授 1 名 但し、地域社会システム学科は教授、准教授又は講師のいずれか 1 名を加え、2 名とする。 なお、委員長所属学科は、教授、准教授又は講師のいずれか 1 名とする。	2 年	副学部長
F D 委員会	・F D 活動に関する事項	医学部教授 1 名 各学科 教授 1 名 但し、地域社会システム学科は教授、准教授又は講師のいずれか 1 名を加え、2 名とする。 なお、委員長所属学科は、教授、准教授又は講師のいずれか 1 名とする。	2 年	副学部長
生命環境学部附属農場運営委員会	・附属農場の運営に関する事項	各学科 教授、准教授又は講師のいずれか 1 名	2 年	農場長
生命環境学部附属ライフサイエンス実験施設運営委員会	・附属ライフサイエンス実験施設の運営に関する事項	各学科(地域社会システムを除く。) 1 名	2 年	施設長

## 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

生命環境学部は、生命工学科、地域食物科学科、環境科学科、地域社会システム学科の4学科構成で、「生命・食・環境・経営」に関する実践教育により、地域社会の持続的な繁栄を実現するために必要となる、生命科学、食物生産・加工、環境・エネルギー、地域経済・企業経営・行政に関し広い視野をもち、地球規模の食料、環境問題などの解決に貢献できる実践的専門職業人を養成することを目指している。

その目的達成のため、改善・改革に向けて不断の努力を行いつつ、教育・研究の水準の向上を図っていく。そのために、自己点検・評価体制及びFD活動実施体制を次のとおり構築し、設置趣旨・目的の実現に向け取り組んでいる。

全学の「山梨大学自己点検・評価等規程」に基づき、生命環境学部に係る自己点検・評価を実施するための「自己点検・評価委員会」を設置した。同委員会において、国立大学法人山梨大学における「第2期中期目標期間における自己点検・評価基本方針」及び「自己点検・評価実施方法等」に基づき、「山梨大学生命環境学部及び大学院医学工学総合研究部生命環境系学域における自己点検・評価実施要領」を策定し、自己点検・評価を実施することとしている。

また、授業内容方法の改善を図るための実施体制を整備するため、全学の「山梨大学全学教育FD委員会規程」に準じ、生命環境学部に係るFD活動を実施する「FD委員会」を設置した。同委員会において、平成24年度FD委員会開催予定及び研修会等実施計画を策定し、学部が目指す「生命・食・環境・経営」に関する実践教育を実現するための、授業の内容及び方法の改善を図ることとしている。

なお、4月の開設に先がけ、生命環境学部の全専任教員を対象としたFD研修会を2日間に渡り開催し、構成員としての有用な情報や知識を共有化することで、本学部の基本理念や目的、さらに教育課程の基本方針を踏まえた教育体制の構築を図っている。